

令和 4 年版

消 防 年 報



令和 5 年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び令和4年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

令和5年6月

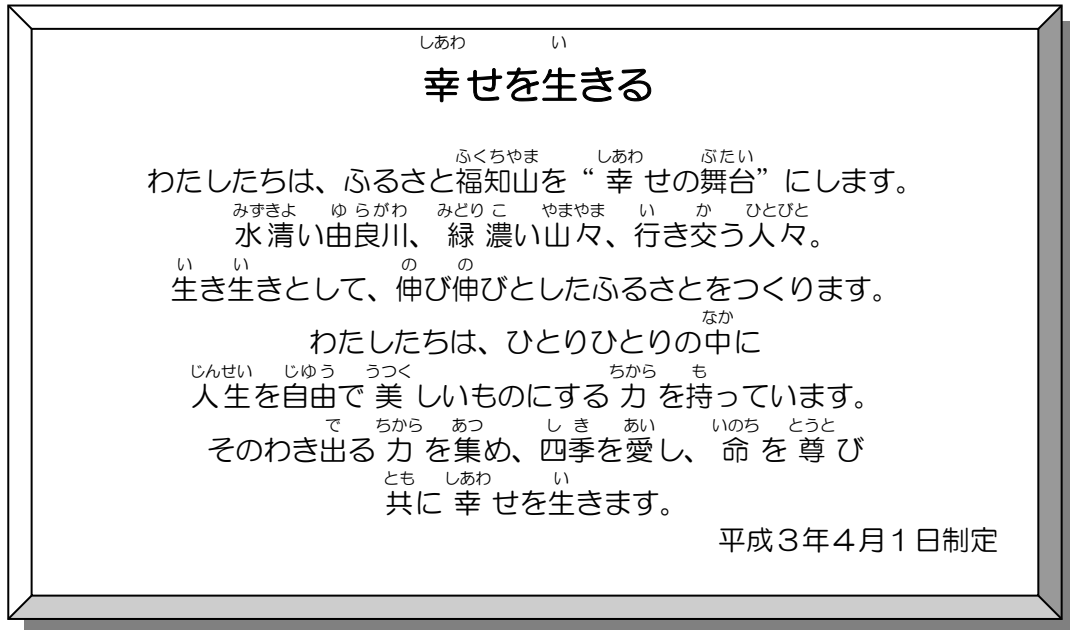
福知山市消防本部

表紙の写真

「大江山の雲海」
～海はないけど雲海はある～

2007年に「丹後天橋立大江山国定公園」に指定され、鬼嶽稻荷神社から秋には色鮮やかな紅葉や美しい雲海を見ることができます。

福知山市市民憲章



市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由に美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒に広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	12
消防職員の定員及び現在員数	13
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	14
事務分掌	15
消防相互応援協定の締結状況	17

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	18
消防水利の状況	19
救助活動のための機械器具等の保有状況	20

統 計

火災概要	22
累年火災比較（10年間）	23
署・分署別火災発生状況	24
地区別火災発生状況1	25
地区別火災発生状況2	26
月別火災発生状況	27
火災種別件数	28
曜日・時間別火災発生状況	29
曜日・時間別火災発生状況グラフ	30
気象別火災発生状況	31
火災原因別調べ	32
救急概要	33
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	34
月別救急活動状況	35
時間別事故種別搬送人員	36
年齢区分別事故種別搬送人員	37
傷病程度別性別事故種別搬送人員	38
傷病程度別年齢区分搬送人員	38

過去10年間における救急出動の推移	39
救急講習実施状況	40
救助概要	41

予 防

防火対象物の状況	42
建築同意事務 署・分署別件数	43
建築同意事務業態別棟別件数	43
消防用設備等検査状況	44
危険物施設の状況	45
危険物申請の状況	46
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	46
手数料徴収状況	46
火災予防条例等各種届出件数	47
立入検査実施状況	47
防火指導状況	48
広報活動状況	48
幼年消防クラブ活動状況	48
福知山市防災センター来館者状況	48

通信指令課

覚知別集計	49
月別指令状況	50
ドクターヘリ要請件数	50
消防通信指令施設の現況	51
消防通信指令系統図	52

消 防 団

消防団の沿革	53
消防団員・消防車両配置表	58
年齢別消防団員数	58
在職年数別消防団員数	58

水 防

水防の概要	59
水防組織	62

【総務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 k m²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群（古墳時代）から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、JR 線や北近畿タンゴ鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まりました。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってきました。

平成 18 年 1 月 1 日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」がスタートし、恵まれた自然環境を生かしながら「未来創造福知山」多様性のあふれる高次機能都市の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。



また、防災面では、『消防機能』の他『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成 24 年 5 月 1 日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、近年多発する大規模災害に対し、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	552.54	75,471	36,623
消防職員一人あたりの割合 (職員数 129 人)	4.25	585.04	283.89

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135°07′	35°17′

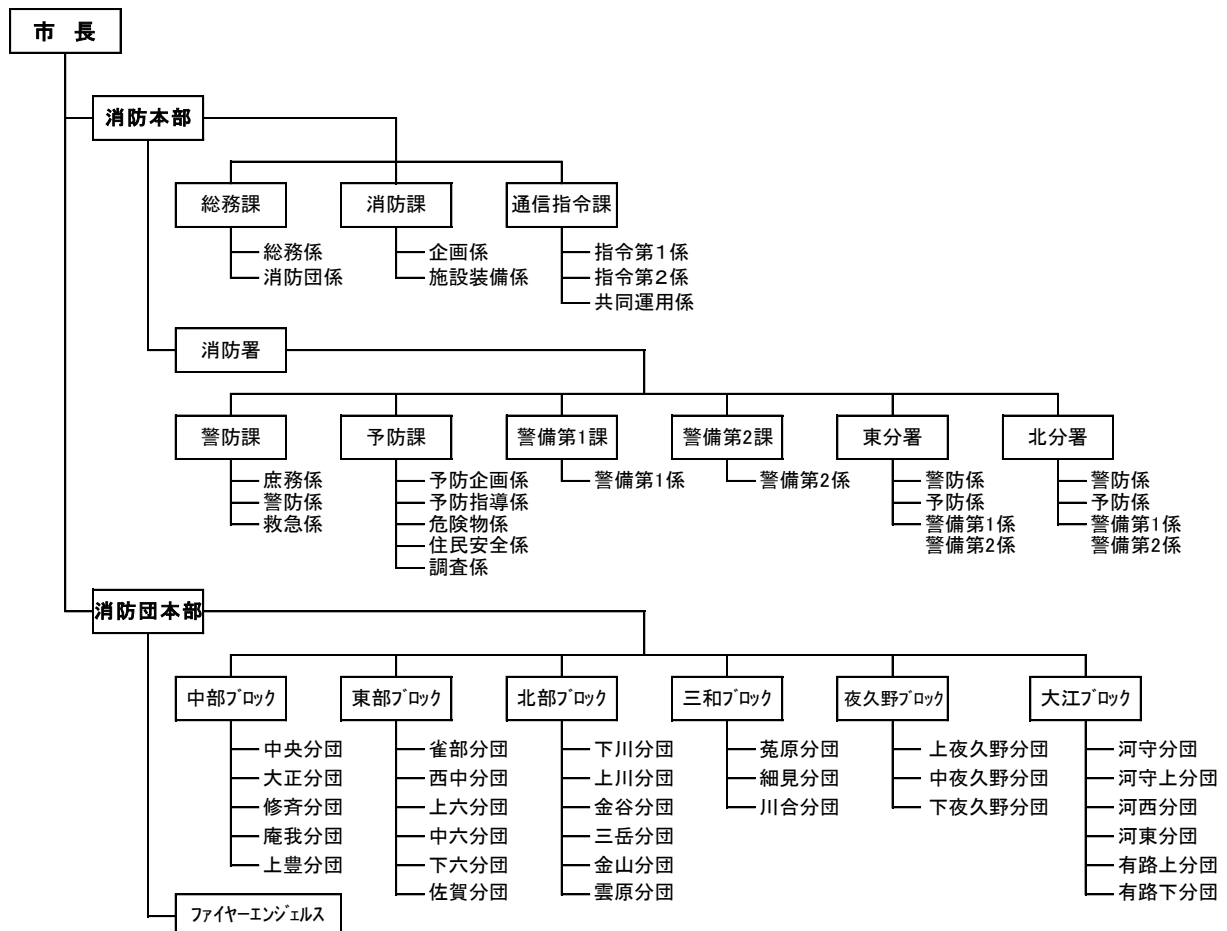
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ	サツキ	ウグイス	ドッコちゃん
カシ	キキョウ	キジ	
ヒノキ	ハギ		酒呑童子
ウメ	レンゲツツジ		
	フジ		

福知山市位置・管内案内図

面積	552.54 km ²
周囲	174.20 km
海拔	839.17m (最高) 7.11m (最低)
総人口	75,471 人
世帯数	36,623 世帯
	(令和5年4月1日現在)



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1 福知山市 消防防災センター	庁舎棟 鉄骨造 2 階建 延 3,109 ㎡ 訓練棟他 付属建物 延 1,047 ㎡	25,149 ㎡	H24.3	消防防災 訓練場
福知山消防署					防災ヘリポ ート
指令センター					防災広場
防災センター					
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 772.82 ㎡	25,235 ㎡	S56.9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 473.52 ㎡	1,710 ㎡	S56.9	訓練場
福知山市 水防センター	福知山市字戸田 271	鉄骨造平屋建 延 231.5 ㎡	772.34 ㎡	R3.3	由良川防災 ステーショ ン内

消防の沿革

(令和5年4月1日)

○昭和23年 1月 6日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける ポンプ車2台 定員15名
〃 7月 4日	職員4名増員 実員19名
○昭和24年 5月31日	職員6名増員 実員25名
〃 8月18日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の3係を置く
〃 12月15日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和25年 8月19日	小牧大火 集落の3分の1、16戸全焼 (2,300㎡)、損害額12,437千円
〃 11月23日	指令車(トヨタクラウン)を購入配置
〃 12月20日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車2台、普通ポンプ車1台
○昭和26年 4月11日	職員7名増員 実員32名
○昭和28年 9月25日	台風13号襲来 由良川水位8.1mに達し市街地全域が水没し、死者4名、重軽傷者788名、家屋の流失55戸、家屋の全壊428戸、半壊1,181戸、床上浸水3,641戸(内2階浸水3,202戸)、床下浸水195戸、その他被害総額6,649,424千円
○昭和29年 4月 1日	職員2名増員 実員34名
○昭和30年 4月 1日	消防本部に消防署を併設 1署3係
〃 4月 1日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の8ヶ村合併により、面積254.93k㎡、人口約61,000人
○昭和31年 3月31日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消FM-1型無線を配置
〃 9月30日	佐賀村分村合併により、面積264.24k㎡、人口63,220人
○昭和34年 9月26日	伊勢湾台風 由良川水位7.1mに達し、重軽傷者26名、家屋の流失4戸、全壊6戸、半壊103戸、床上浸水3,473戸、床下浸水1,644戸、その他被害総額1,164,566千円
○昭和35年 3月 5日	普通ポンプ車を購入配置(更新)
○昭和36年 9月16日	第二室戸台風 瞬間最大風速43mを記録し、死者3名、重軽傷者6名を出し、家屋の全壊9戸、半壊67戸、その他被害総額162,482千円
○昭和37年 5月 8日	内記五丁目大火 全焼12戸、半焼3戸、部分焼6戸、農機工場より出火、焼失面積2,393㎡、損害額23,911千円
〃 5月 8日	技術吏員1名増員し、危険物規制事務開始 実員35名
〃 11月20日	福知山市字天田小字中長戸76番地に、鉄筋コンクリート2階建庁舎を建設し業務を開始
〃 12月20日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和40年 3月31日	小牧大火 全焼7戸、部分焼2戸、焼失面積782㎡、損害額8,732千円
○昭和42年12月 4日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始(救急車を購入配置) 職員4名増員 実員39名
○昭和45年 3月 4日	大槻内科医院より自動二輪車4台寄贈を受ける
〃 4月 1日	職員1名増員 実員40名

○昭和 45 年 11 月 13 日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和 46 年 4 月 1 日	職員 3 名採用 実員 40 名
○昭和 47 年 3 月 15 日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和 48 年 10 月 1 日	職員 3 名増員 実員 43 名
〃 12 月 13 日	新町大火 全焼 13 戸、半焼 2 戸、部分焼 8 戸、り災世帯 10 世帯、り災人員 43 名、 焼失面積 1,929 m ² 、損害額 60,708 千円 消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
○昭和 49 年 2 月 13 日	内記六丁目大火 全焼 6 戸、半焼 1 戸、部分焼 1 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 35 名、死者 1 名、負傷者 2 名、焼失面積 730 m ² 、損害額 28,130 千円
〃 4 月 1 日	消防職員 7 名増員 実員 50 名
〃 5 月 10 日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
〃 5 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新）
〃 7 月 1 日	本部機構改革、2 課 5 係
○昭和 50 年 2 月 27 日	化学車（Ⅲ型）を購入配置
〃 4 月 1 日	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新） 消防職員 4 名増員 実員 54 名
○昭和 51 年 2 月 6 日	農協共済より救急車（2B）の寄贈を受ける
〃 5 月 13 日	内記四丁目大火 全焼 7 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 3 世帯、り災人員 20 名、焼失 面積 1,267 m ² 、損害額 19,793 千円
〃 6 月 14 日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
〃 7 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 55 名
○昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 56 名
〃 7 月 19 日	指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 56 名
〃 10 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 58 名
○昭和 54 年 3 月 26 日	原動機付自転車 2 台を購入配置
〃 3 月 31 日	福知山消防署庁舎改修
〃 8 月 1 日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和 55 年 1 月 23 日	普通消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置
〃 3 月 11 日	日本損害保険協会より救急自動車（3B）の寄贈を受ける
〃 8 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 58 名
○昭和 56 年 1 月 23 日	一市三町広域消防調印式挙行
〃 3 月 9 日	普通消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入配置（更新）
〃 3 月 31 日	救急車を購入配置する
〃 4 月 1 日	一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員 21 名増員 実員 79 名
〃 9 月 11 日	福知山市長田野町三丁目 12 番地の 2 福知山消防署東分署庁舎完成 （RC造 2 階建延床面積 772.82 m ² ） 福知山市字牧 471 番地の 2 福知山消防署北分署庁舎完成 （RC造 2 階建延床面積 419.81 m ² ）
〃 9 月 21 日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
〃 9 月 24 日	普通消防ポンプ自動車（BD-I 型）を 2 台購入、2 分署に配置

○昭和 56 年 9 月 30 日	広報車を購入し、東分署に配置
〃 10 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名×2 分署）
〃 11 月 20 日	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
〃 12 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年 3 月 24 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
〃 12 月 11 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年 3 月 31 日	小型動力ポンプ（C-1 級）を購入し、2 分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
〃 9 月 26 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-I 型）の寄贈を受ける
〃 9 月 29 日	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年 3 月 30 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
〃 3 月 31 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B 型）を購入配置（更新）
〃 8 月 31 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年 4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く 消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年 3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II 型 A 級）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年 1 月 17 日	日本自動車工業会より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
〃 3 月 18 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
〃 4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
〃 5 月 24 日	2 時 36 分 西中ノ町建物火災、3 時 50 分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、焼失面積 709 m ² 、損害額 47,302 千円
〃 10 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年 12 月 4 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年 3 月 31 日	日本自動車工業会より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
〃 5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年 4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
〃 6 月 25 日	JR 福知山線「岡踏切」列車事故 重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名
〃 8 月 20 日	北京都信用金庫より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年 2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II 型 A 級）を購入し、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
〃 10 月 16 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
〃 11 月 25 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5 年 1 月 30 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名

○平成 5年 4月 26日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける
〃 7月 1日	職員定員 104名とする
〃 9月 1日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
〃 9月 17日	消防職員 4名増員 実員 98名
〃 9月 30日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
〃 11月 11日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新） 消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6年 4月 1日	消防職員 3名採用（内 1名増員） 実員 99名
〃 5月 18日	本部初の救急救命士 1名誕生
○平成 7年 1月 18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
〃 1月 23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 2月 14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
〃 4月 1日	消防職員 3名採用（内 2名増員） 実員 101名 救急救命士 実員 1名
○平成 8年 1月 22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3月 11日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
〃 4月 1日	消防職員 1名採用 実員 101名 救急救命士 実員 2名 本部・署機構改正 本部 2係・署 2課 1室 6係となる
〃 4月 30日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
〃 11月 14日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
○平成 9年 4月 1日	
〃 5月 19日	消防職員 3名採用 実員 102名 救急救命士 実員 4名
〃 12月 22日	自治体消防制度 50周年、市制施行 60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
〃 12月 28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 10年 3月 3日	福知山市防災センター竣工
〃 4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始 消防無線第 2 市波運用開始 携帯電話からの 119 番通報受信体制整備（代表受信消防本部） 救急救命士 実員 8名
〃 8月 27日	北分署改修工事着手
○平成 11年 4月 1日	消防職員 3名採用 実員 102名 救急救命士 実員 9名 本部・署機構改正 本部 2係・署 2課 1室 2分署 12係となる
〃 7月 1日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
○平成 12年 3月 7日	消防広報誌「火の用心」創刊
〃 4月 1日	消防職員 2名採用 実員 102名 救急救命士 実員 11名
○平成 13年 1月 22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
〃 3月 1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める
〃 3月 22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
〃 3月 23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4月 1日	救急救命士 実員 12名
○平成 14年 2月 28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4月 1日	救急救命士 実員 13名
〃 12月 16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）

○平成 15 年 4 月 1 日	消防職員 2 名（内 1 名救急救命士資格取得者）採用 実員 102 名 救急救命士 計 14 名
〃 12 月 1 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 16 年 2 月 23 日	第 1 回自主防火・防災リーダー養成講座実施
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 102 名 予防課に住民安全係を設置。本部 2 係、署 2 課 1 室 2 分署 13 係となる
〃 4 月 2 日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
〃 9 月 11 日	「救急フェア」開催
〃 10 月 20 日 ~21 日	「台風 23 号災害」半壊・一部損壊 63 戸、浸水家屋 844 戸 被害額 4,421,498 千円。由良川水位 7.55m に達する
〃 11 月 13 日	IP 電話（ケイオプティコム）からの 119 番通報受信開始
○平成 17 年 2 月 14 日	IP 電話（日本テレコム）からの 119 番通報受信開始
〃 3 月 29 日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名 救急救命士 実員 16 名
〃 6 月 11 日	消防団緊急伝達システム 運用開始
〃 8 月 29 日	IP 電話（平成電電）からの 119 番通報受信開始
〃 10 月 1 日	IP 電話（KDDI）からの 119 番通報受信開始
○平成 18 年 1 月 1 日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
〃 1 月 10 日	IP 電話（NTT西日本）からの 119 番通報受信開始
〃 2 月 2 日	携帯電話 119 番通報 直接受信開始
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 104 名 救急救命士 実員 17 名
〃 10 月 29 日	第 1 回自主防火・防災リーダー中級講座実施
〃 12 月 21 日	IP 電話（平成電電）からの 119 番通報受信終了
○平成 19 年 2 月 1 日	消防ポンプ自動車（水槽付 CD-I 型）を購入し、北分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 103 名
〃 4 月 1 日	予防技術資格者認定制度開始
〃 10 月 1 日	携帯電話・IP 電話発信位置表示通知システム導入
〃 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催
○平成 20 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 104 名
〃 11 月 8 日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成 21 年 3 月 23 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 104 名 救急救命士 実員 18 名
○平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする 消防職員 12 名採用 実員 110 名 救急救命士 実員 20 名
〃 4 月 17 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
〃 6 月 1 日	消防ポンプ自動車（CD-1 型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 10 月 14 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年 3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3 月 11 日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 2 日）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用 実員 114 名 救急救命士 実員 22 名 北分署機構改正。増員（分署長以下 22 名）、および昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急 2 隊運用を開始する

○平成 24 年 3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工
〃 3 月 30 日	「福知山市防災広場」竣工
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名 救急救命士 実員 24 名
〃 4 月 25 日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始
〃 5 月 1 日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1 「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成 25 年 1 月 17 日	消防防災センター来館者が 1 万人に達する
〃 3 月 6 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける
〃 2 月 14 日	下紺屋町建物火災、全焼 6 棟、部分焼 6 棟、ぼや 1 棟、り災人員 20 名、焼失面積 802 m ²
〃 4 月 1 日	消防職員 10 名採用（内 6 名増員） 実員 123 名 救急救命士 実員 25 名
〃 8 月 15 日	消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間）
〃 9 月 15 日	福知山花火大会会場で火災事故発生 死者 3 名 負傷者 56 名 「台風 18 号災害」全壊 2 棟、半壊 311 棟、床下浸水 356 棟、大規模半壊 19 棟、一部損壊・床上浸水 423 棟、由良川水位 8.3m に達する
〃 10 月 24 日	京都府立消防学校北部訓練拠点開設 京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
○平成 26 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員） 実員 124 名 救急救命士 実員 26 名 消防署に指揮隊車を配置し、24 時間常駐の指揮隊の運用を開始する 消防救急デジタル無線運用開始
〃 8 月 16 日	「8 月豪雨災害」16 日～17 日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害の発生 4,500 棟が浸水
○平成 27 年 1 月 29 日	消防団簡易デジタル無線整備
〃 3 月 27 日	水槽付消防ポンプ自動車（1-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用（内 1 名増員） 実員 125 名 救急救命士 実員 25 名 消防本部機構改革 本部 4 課 8 係、署 4 課 2 分署 13 係となる
〃 7 月 14 日	e ラーニング方式による救急講習を開始
〃 9 月 9 日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設
○平成 28 年 1 月 18 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 25 日	指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 126 名 救急救命士 実員 26 名 消防署機構改革 4 課 2 分署 12 係となる
〃 4 月 16 日	熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 22 日）
〃 11 月 6 日	消防防災センターオープン 5 周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成 29 年 3 月 29 日	消防防災センター来館者が 5 万人に達する
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 4 名増員） 実員 129 名 救急救命士 実員 27 名
〃 4 月 10 日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（GD-I 型）を購入し、消防署北分署に配置（更新）
〃 9 月 17 日	「台風 18 号災害」一部損壊・床上浸水 5 棟、床下浸水 29 棟
〃 9 月 22 日	支援車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 10 月 22 日	「台風 21 号災害」半壊 12 棟、一部損壊・床上浸水 77 棟、床下浸水 92 棟

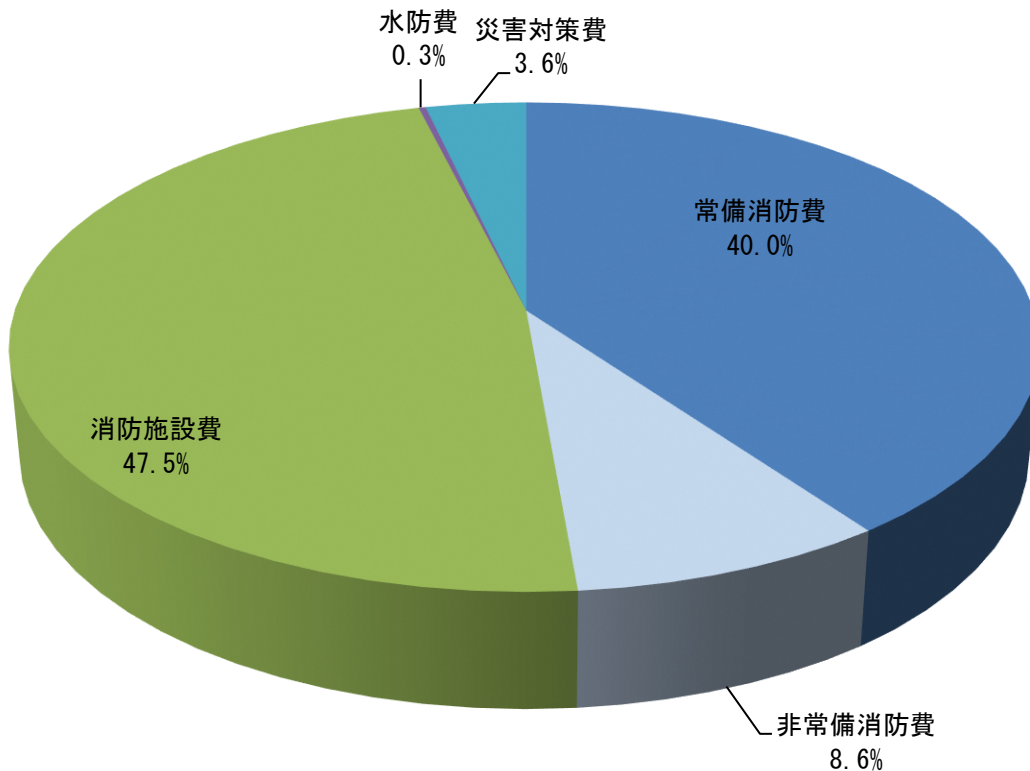
○平成30年	4月1日	消防職員5名採用（内1名増員、内1名救急救命士資格取得者） 実員130名 救急救命士 実員28名 消防本部機構改革 本部3課6係、署4課2分署14係となる
"	7月3日	「7月豪雨災害」 全壊5棟 半壊39棟 一部損壊・床上浸水208棟 床下浸水493棟
"	7月31日	7月豪雨災害発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～8月1日：広島県広島市）
○平成31年	2月18日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	2月22日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員5名採用 実員129名／定数130名 救急救命士 実員29名
令和元年	7月12日	一般社団法人無人航空機器操縦士養成協会と『消防活動における無人航空機等による協力に関する協定』を締結
○令和2年	3月30日	総務省消防庁より緊急消防援助隊土砂風水害機動支援部隊用車両として重機搬送車と重機の無償貸与を受ける
"	4月1日	消防職員8名採用 実員130名／定数130名 救急救命士 実員31名
"	4月1日	京都府中・北部地域消防指令センター共同運用準備委員会を設置
"	4月28日	化学消防ポンプ自動車を購入、東分署に配置（更新）
"	8月26日	福正小松販売（株）、但馬重機（株）と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"	11月9日	京都府中・北部地域消防指令事務協議会を設置
○令和3年	3月1日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置（更新）
"	3月7日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員3名採用（内1名救急救命士資格取得者） 実員130名／定数130名 救急救命士 実員32名 消防署機構改革 本部3課7係、署4課2分署18係となる
"	4月21日	「福知山市水防センター」運用開始
"	12月23日	日立建機日本（株）関西支社と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
○令和4年	3月18日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、北分署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員3名採用 実員129名／定数130名 救急救命士 実員35名
○令和5年	2月1日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	2月14日	福知山建設業協会と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"		福知山生コンクリート協同組合と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"	4月1日	消防職員7名採用（内1名救急救命士資格取得者） 実員129名／定数130名 救急救命士 実員37名

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度		令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般会計予算		47,100,000	43,200,000	40,100,000	
消防費予算		2,713,510	2,715,856	1,446,893	
比		5.7%	6.2%	3.6%	
内訳	常備消防費		1,085,285	1,081,959	1,065,490
	非常備消防費		234,229	264,810	156,803
	その他	消防施設費	1,288,932	1,292,987	176,291
		水防費	6,803	6,806	2,596
		災害対策費	98,261	69,294	45,713

2 令和5年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(令和5年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条 例 定 数								130
実員	1	1	23	20	52	0	31	1	129

消防職員の配置表

(令和5年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計	
合 計	1	1	23	20	52	0	31	1	129	
消 防 本 部	消 防 長	1							1	
	総務課	課 長		1						1
		総務係			2				1	3
		消防団係		1	1			1		3
	消防課	課 長		1						1
		企 画 係			1	1				2
		施設装備係				1	1			2
	通信指令課	課 長		1						1
		担当課長		1						1
		指令第1係		1	1	2				4
指令第2係			1		3				4	
	共同運用係			1	1				2	
消 防 署	次 長 兼 署 長		1						1	
	警防課	課 長		1						1
		担当課長		1						1
		庶務係			1	1		1		3
		警防係			1	5		2		8
		救急係			2	4		1		7
	予防課	課 長		1						1
		担当課長		1						1
		予防企画係			1	1				2
		予防指導係		1		5		3		9
		危険物係			1	2				3
		住民安全係		1		3		1		5
		調 査 係		1	1	1		1		4
	警備第1課		1(2)	1(3)	(13)		(5)		2(23)	
	警備第2課		2(2)	(2)	(14)		(4)		2(22)	
東 分 署	分 署 長		1						1	
	警 防 係			1	4		3		8	
	予 防 係		1		7		5		13	
	警備第1係		1	(1)	(5)		(4)		1(10)	
	警備第2係		(1)	1	(5)		(4)		1(10)	
北 分 署	分 署 長		1						1	
	警 防 係			1	5		4		10	
	予 防 係		1	1	6		2		10	
	警備第1係		(1)	1	(6)		(3)		1(10)	
	警備第2係		1	(2)	(5)		(3)		1(10)	
初 任 教 育 入 校							7		7	

※()は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(令和5年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							5		5
20才以上 24才以下					1		14		15
25才以上 29才以下					13		11		24
30才以上 34才以下					21		1	1	23
35才以上 39才以下				7	14				21
40才以上 44才以下				10	3				13
45才以上 49才以下			9	1					10
50才以上 54才以下			10	1					11
55才以上	1	1	4	1					7
合計	1	1	23	20	52	0	31	1	129
平均年齢	57.00	56.00	50.70	42.30	32.30	0.00	23.60	33.00	35.40

消防職員階級別勤続年数

(令和5年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満							26	1	27
5年以上 10年未満					22		5		27
10年以上 15年未満				6	25				31
15年以上 20年未満				7	5				12
20年以上 25年未満			3	4					7
25年以上 30年未満			9	2					11
30年以上	1	1	11	1					14
合計	1	1	23	20	52	0	31	1	129
平均勤続年数	32.00	38.00	30.00	18.40	10.20	0.00	2.50	1.00	13.40

事務分掌

【消防本部事務分担表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 消防団に関する事。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関する事。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関する事。

消防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 消防施策の立案及び調整に関する事。
- 3 消防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 消防行政の広報に関する事。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- 7 水防計画に関する事。
- 8 その他消防業務に関する事。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関する事。
- 3 消防通信の運用に関する事。
- 4 気象情報及び災害情報に関する事。
- 5 災害発生時の関係機関との連絡調整に関する事。
- 6 消防指令施設及び消防通信施設の保全管理及び技術指導に関する事。
- 7 消防隊等の出動計画に関する事。
- 8 非常招集に関する事。
- 9 消防通信の高度化に関する事。
- 10 消防統計に関する事。
- 11 京都府中・北部地域消防指令事務協議会に関する事。
- 12 その他通信指令業務に関する事。

【消防署事務分担表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関する事。
- 4 警防訓練に関する事。
- 5 消防関係団体に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 9 消防団に関する事。
- 10 火災・救急・救助業務に関する事。
- 11 救急搬送証明書の交付に関する事。
- 12 消防署の他の課の主管に属さない事。

予防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 火災予防対策に関する事。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 防火・防災管理者に関する事。
- 5 予防査察及び防火指導に関する事。
- 6 予防広報に関する事。
- 7 災害時要配慮者に対する防火指導に関する事。
- 8 違反処理に関する事。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 10 建築物の確認同意事務に関する事。
- 11 危険物製造所等の許認可に関する事。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関する事。
- 13 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。
- 15 自主防災組織等の育成に関する事。
- 16 消防関係団体に関する事。
- 17 火災統計に関する事。
- 18 火災調査に関する事。
- 19 リ災証明書の交付に関する事。
- 20 福知山市防災センターの運営・管理に関する事。
- 21 その他予防業務に関する事。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害現場活動に関する事。
- 2 現場指揮及び安全管理に関する事。
- 3 警防計画等の策定及び対策に関する事。
- 4 事業所等の警防・防火指導に関する事。
- 5 水難救助に関する事。
- 6 火災調査に関する事。
- 7 その他消防署長が必要と認める事。

分署

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 分署員の教養訓練に関する事。
- 4 庁舎管理に関する事。
- 5 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 6 消防地理水利に関する事。
- 7 火災・救急・救助業務に関する事。
- 8 消防団に関する事。
- 9 火災予防対策に関する事。
- 10 予防査察及び防火指導に関する事。
- 11 防火・防災管理者に関する事。
- 12 予防広報に関する事。
- 13 災害時要配慮者に対する防火指導に関する事。
- 14 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 15 建築物の確認同意事務に関する事。
- 16 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 17 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。
- 18 自主防災組織等の育成に関する事。
- 19 その他分署長が必要と認める事。

消防相互応援協定の締結状況

(令和5年3月31日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両丹都市 消防相互応援協定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成21年2月1日	市域間における 消防・救急業務
消防相互応援 に関する協定	京都中部広域 消防組合	平成20年4月1日	常備消防 における 消防・救急業務
〃	豊岡市	平成18年1月1日	市域間における 消防・救急業務
〃	南但広域 行政事務組合	平成25年4月1日	〃
〃	丹波市	平成19年1月1日	〃
〃	篠山市	平成11年4月26日	〃
京都府広域 消防相互応援協定	京都府26市町村 ・4消防組合	令和2年3月27日	大規模災害 及び 特殊災害
舞鶴若狭自動車道 における 消防相互応援協定	敦賀美方消防組合 若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成30年4月5日	高速道路 における 火災・救急 救助業務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(令和5年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・型式	登録年月日	定員	備 考
本部	指 令 車	指 令 車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 3. 24	8	
消 防 署	ポンプ1号車	ポ ン プ 車	三 菱 KK-FG72EC	H15. 11. 26	5	CD-I 型
	ポンプ2号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H19. 1. 25	5	CD-I 型
	ポンプ5号車	ポ ン プ 車	三 菱 KC-FG538D	H8. 1. 19	6	CD-I 型
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H27. 3. 5	6	水1-A型 圧縮泡消火装置付き
	救助工作車	救 助 工 作 車	日 野 2KG-GX2ABA	H31. 1. 10	6	
	梯 子 車	梯子付ポンプ車	日 野 2PG-FH1AGA改	R3. 1. 15	6	25m級
	機動装備車	機 動 装 備 車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2. 21	3	
	重機搬送車	重 機 搬 送 車	日 野 2DG-GK2ABA	R2. 3. 18	3	
	救急1号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3. 3. 4	7	高規格
	救急2号車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 1. 8	7	高規格
	指揮隊車	指 揮 隊 車	トヨタ CBF-TRH216K	H26. 3. 24	5	
	支 援 車	支 援 車	ニッサン DBA-NT32	H29. 9. 19	5	
	軽積載車	軽 積 載 車	スズキ M-DB51T改	H3. 2. 27	4	
	資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ T-YH81改	H18. 1. 17	6	団予備車
	広 報 車	広 報 車	スズキ CBA-MH21S	H16. 7. 30	4	
	防火指導車	防 火 指 導 車	ホンダ DBA-JF2	H24. 9. 14	4	
	査 察 車	査 察 車	ダイハツ DBA-LA600S	H29. 4. 27	4	
	救 援 車	救 援 車	トヨタ CBA-TRH214W	H16. 12. 16	10	
	搬 送 車	搬 送 車	トヨタ CBF-TRH228B	H18. 5. 26	15	
防災学習車	防 災 学 習 車	トヨタ CBF-TRH226K	H29. 11. 27	6		
防火広報車	防 火 広 報 車	ダイハツ 3BD-S331V	R2. 11. 13	4		
東 分 署	ポンプ3号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H22. 5. 24	6	CD-I 型
	化 学 車	化学ポンプ車	日 野 2KG-GX2ABA	R2. 3. 30	6	II 型
	救急3号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5. 1. 26	7	高規格
	救急5号車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H31. 2. 12	7	高規格
	東指揮広報車	指 揮 車	ニッサン LC-VPE25	H16. 3. 23	9	
	東資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KF-CM85	H13. 3. 19	3	
北 分 署	ポンプ4号車	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU685M	H29. 3. 23	5	CD-I 型 圧縮泡消火装置付き
	救急4号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R4. 3. 11	7	高規格
	救急6号車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H22. 10. 6	7	高規格
	北指揮広報車	指 揮 車	ニッサン UA-NT30	H17. 11. 18	5	
	北資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ T-YH81改	H18. 2. 3	8	

消防水利の状況

(令和5年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	令和4年度		40立米以上 以現有	40立米未 満有		令和4年度		上水道 現有	簡易水道 現有
	新設	廃止				新設	廃止		
中央	0	2	103	9	4	1	0	457	0
大正	2	0	47	3	1	0	0	160	0
雀部	0	0	49	4	1	0	0	186	0
庵我	0	0	27	14	1	0	0	83	0
修齊	0	0	82	17	1	1	0	294	0
西中	0	0	40	5	1	0	0	144	0
下川	1	1	33	5	0	0	0	91	0
上豊	0	0	24	16	1	1	0	161	0
上六	1	3	20	8	1	0	0	78	0
中六	0	0	21	5	1	0	0	59	0
下六	1	3	64	4	1	0	0	142	0
上川	0	0	23	2	1	0	0	144	0
金谷	0	0	20	5	1	0	2	89	0
三岳	1	0	8	3	1	0	0	0	119
金山	0	0	12	3	0	0	0	0	98
雲原	0	0	1	1	0	0	0	0	70
佐賀	0	0	7	5	1	0	0	88	0
長田野	1	0	130	27	1	0	0	108	0
菟原	0	0	50	12	1	0	0	0	152
細見	3	1	70	17	1	0	0	0	202
川合	0	0	49	2	1	0	0	0	101
上夜久野	0	0	51	11	0	0	0	0	256
中夜久野	0	0	18	2	0	0	0	0	131
下夜久野	0	0	29	4	1	0	4	0	213
河守	0	0	29	0	1	0	0	0	124
河守上	0	0	27	4	1	0	0	0	118
河西	0	0	14	5	1	0	0	0	81
河東	0	0	32	3	1	0	0	0	116
有路上	0	0	41	4	1	0	0	0	109
有路下	0	0	32	3	1	0	0	0	97
合計	10	10	1,153	203	28	3	6	2,284	1,987

救助活動のための機械器具等の保有状況

(令和5年4月1日)

	品名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	5	6	2
	三連はしご	5	2	1
	ワイヤーはしご	1	0	0
	空気式救助マット	1	0	0
	救命索発射装置	1	0	0
	救助縛帯	6	1	0
	平担架	2	2	0
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	1
	可搬ウインチ	3	2	1
	マンホール救助器具	2	0	0
	マット型空気ジャッキ	2	0	0
	大型油圧スプレッダー	4	1	0
切断用	大型油圧切断機	2	0	0
	エンジンカッター	7	2	1
	チェーンソー	3	2	2
	ガス溶断機	1	0	0
	空気鋸	2	0	0
	空気切断機	1	0	0
	鉄線カッター	8	4	4
破壊器具	万能斧	10	5	4
	ハンマー	3	1	0
	携帯用コンクリート破壊器具	1	0	0
	削岩機	3	0	0
測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1
	有毒ガス測定器	2	0	0
	放射線測定器	18	6	6

(令和5年4月1日)

	品名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	44	13	7
	防塵マスク	37	6	0
	送排風機	2	1	0
隊員保護用	耐電手袋	11	6	6
	耐電衣	4	0	0
	耐電ズボン	4	0	0
	耐電長靴	8	6	6
	防塵メガネ	60	9	27
	携帯警報器	10	10	7
	陽圧式化学防護服	9	0	0
水難救助用	潜水器具	8	0	0
	救命胴衣	43	12	11
	救命ボート	7	3	3
	船外機	5	2	2
	救命浮環	10	2	2
	流水救助器具	12	4	4

【統計】

火災概要

		令和4年	令和3年	前年比（△減）	
火災件数 （爆発）	建 物	17 (0)	13 (0)	4 (0)	
	林 野	3 (0)	1 (0)	2 (0)	
	車 両	3 (0)	0 (0)	3 (0)	
	その他	14 (0)	8 (0)	6 (0)	
	計	37 (0)	22 (0)	15 (0)	
焼損面積	建物（㎡）	床面積	697	164	533
		表面積	27	53	△ 26
	山林原野（a）	4	0	4	
焼損棟数 （棟）	全 焼	3	4	△ 1	
	半 焼	2	0	2	
	部分焼	6	4	2	
	ぼ や	10	9	1	
り災世帯 （世帯）	全 損	2	1	1	
	半 損	0	0	0	
	小 損	6	6	0	
り 災 人 員（人）		17	13	4	
死傷者 （人）	死 者	1	1	0	
	傷 者	7	1	6	
損害見積額 （千円）	建 物	29,152	23,286	5,866	
	収容物	5,990	924	5,066	
	林 野	0	0	0	
	車 両	519	0	519	
	その他	7	365	△ 358	
	爆 発	0	0	0	
	計	35,668	24,575	11,093	
火災発生間隔（日）		9.8	16.6	△ 6.8	
1 件平均損害額（千円）		964	1,117	△ 153	
1 日平均損害額（千円）		97	67	30	
1 件平均建物床焼損面積（㎡）		41	13	28	

累年火災比較（10年間）

		25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年 元年	令和2 年	令和3 年	令和4 年	
火災 件数 (件)	建 物	19	18	15	20	18	15	12	10	13	17	
	林 野	3	2	0	1	3	0	0	2	1	3	
	車 両	2	6	1	3	7	3	6	1	0	3	
	その他	15	13	16	14	14	20	10	4	8	14	
	計	39	39	32	38	42	38	28	17	22	37	
焼損 面積	建物 (m^2)	床面積	943	763	350	683	763	1,013	447	275	164	697
		表面積	56	17	53	4	47	34	3	0	53	27
	山林原野 (a)	47	22	1	38	3	0	0	15	0	4	
焼損 棟数 (棟)	全 焼	9	5	9	5	5	3	6	4	4	3	
	半 焼	2	0	0	0	3	1	1	1	0	2	
	部分焼	8	4	5	4	8	8	5	0	4	6	
	ぼ や	10	16	8	14	5	7	7	7	9	10	
り災 世帯 (世帯)	全 損	4	5	3	2	2	2	4	0	1	2	
	半 損	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	
	小 損	12	5	5	16	9	5	5	1	6	6	
り災人員 (人員)		37	20	10	32	28	22	26	6	13	17	
死傷 者 (人)	死 者	4	3	2	2	4	0	2	1	1	1	
	傷 者	64	7	1	5	4	6	4	1	1	7	
損害 見積額 (千円)	建 物 (収容物含む)	36,558	41,184	24,052	26,521	31,480	47,901	40,634	17,134	24,210	35,142	
	林 野	1,244	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	車 両	147	691	755	444	691	258	543	127	0	519	
	その他	425	753	55	0	213	17	38	132	365	7	
	爆 発	0	0	22,528	1,600	6,378	0	0	0	0	0	
	計	38,374	42,628	47,390	28,565	38,762	48,176	41,215	17,394	24,575	35,668	

署・分署別火災発生状況

(令和4年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物	10	6	1	17
	林 野	1	0	2	3
	車 両	0	3	0	3
	その他	6	4	4	14
	計	17	13	7	37
焼損面積	建 物 (㎡)	155	542	0	697
	山林原野 (a)	2	0	2	4
焼損棟数 (棟)	全 焼	1	2	0	3
	半 焼	0	2	0	2
	部 分 焼	3	3	0	6
	ぼ や	8	1	1	10
	計	12	8	1	21
り災世帯 (世帯)	全 損	2	0	0	2
	半 損	0	0	0	0
	小 損	5	0	1	6
	計	7	0	1	8
り災人員 (人)		16	0	1	17
死 者 (人)		1	0	0	1
傷 者 (人)		2	3	2	7
損害見積額 (千円)	建 物	9,056	20,096	0	29,152
	収 容 物	802	5,188	0	5,990
	林 野	0	0	0	0
	車 両	0	519	0	519
	そ の 他	7	0	0	7
	爆 発	0	0	0	0
	計	9,865	25,803	0	35,668

地区別火災発生状況 1

(令和4年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
中央	8	0	0	2	10	155	24	0	1	0	3	6	10
大正	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
雀部	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1
庵我	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
修斉	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
西中	1	0	0	0	1	132	0	0	1	0	0	0	1
下川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上豊	0	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	2	0	1	1	4	28	3	0	0	1	2	0	3
上川	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	1	0	0	0	1	365	0	0	0	1	1	0	2
細見	1	0	1	1	3	17	0	0	1	0	0	0	1
川合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0
下夜久野	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	3	3	14	37	697	27	4	3	2	6	10	21

地区別火災発生状況 2

(令和4年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
中央	2	0	4	6	15	1	2	9,054	778	0	0	7	0	9,839
大正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雀部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵我	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修斉	0	0	1	1	1	0	0	2	24	0	0	0	0	26
西中	0	0	0	0	0	0	0	19,899	4,946	0	0	0	0	24,845
下川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	27
下六	0	0	0	0	0	0	3	151	240	0	328	0	0	719
上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細見	0	0	0	0	0	0	0	46	2	0	164	0	0	212
川合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	6	8	17	1	7	29,152	5,990	0	519	7	0	35,668

月別火災発生状況

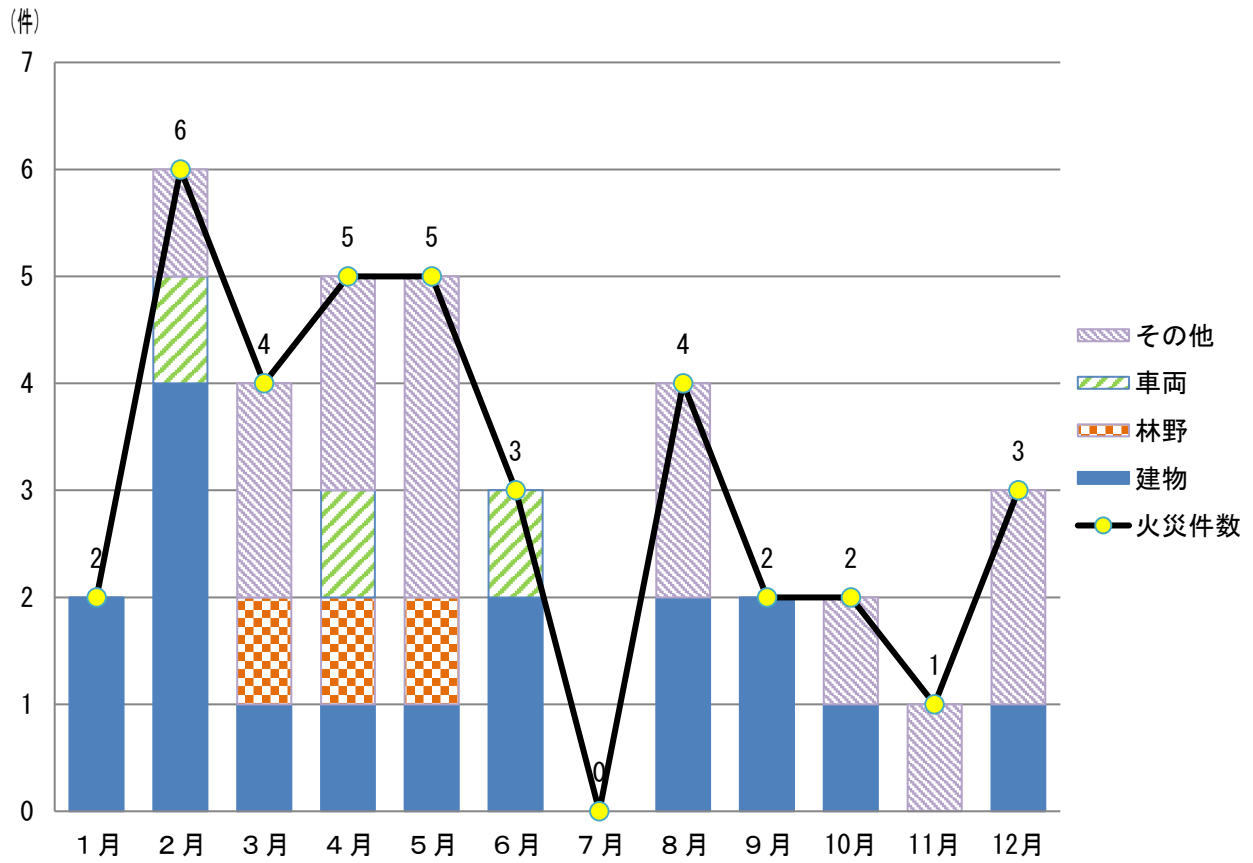
(令和4年中)

	火災発生件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
1月	2	0	0	0	2	17	0	0	1	0	0	1	2
2月	4	0	1	1	6	248	19	0	2	0	2	2	6
3月	1	1	0	2	4	0	0	1	0	0	0	1	1
4月	1	1	1	2	5	0	4	1	0	0	1	0	1
5月	1	1	0	3	5	0	0	2	0	0	0	1	1
6月	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	2	2
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	2	0	0	2	4	67	12	0	0	1	2	0	3
9月	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	2	2
10月	1	0	0	1	2	365	0	0	0	1	1	0	2
11月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	17	3	3	14	37	697	36	4	3	2	6	10	21

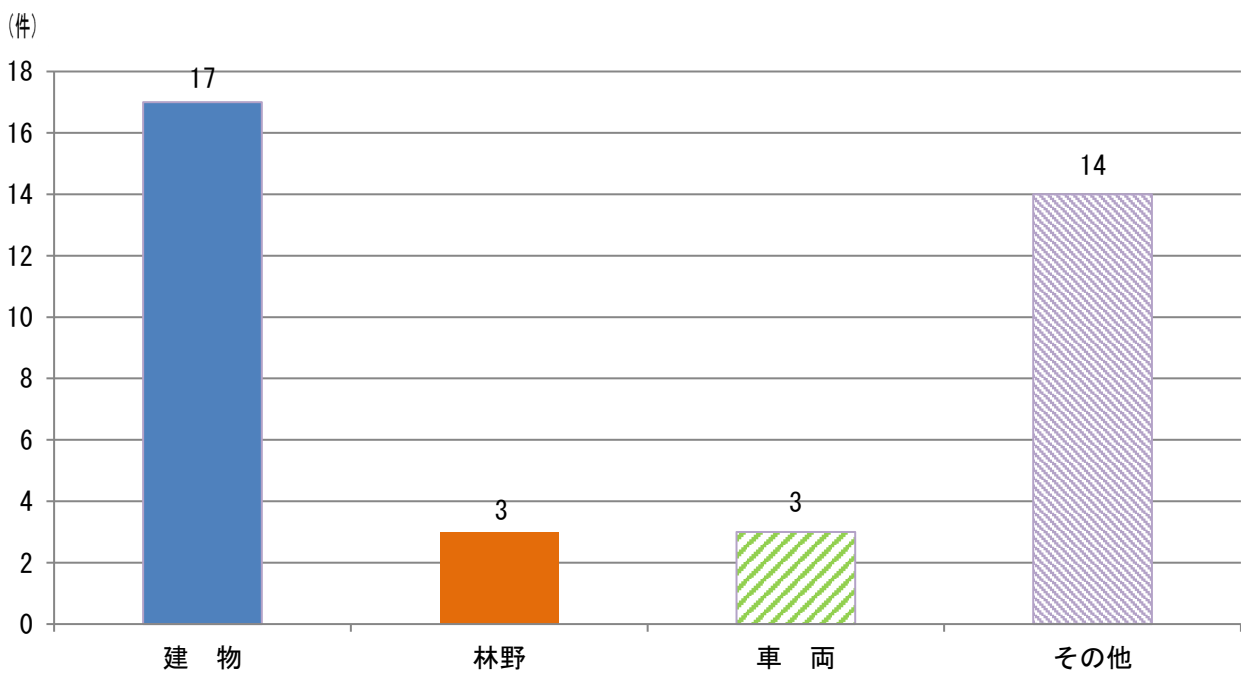
(令和4年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
1月	0	0	0	0	0	0	0	46	3	0	0	0	0	49
2月	1	0	1	2	5	0	1	28,692	5,822	0	164	7	0	34,685
3月	0	0	1	1	1	0	0	2	3	0	0	0	0	5
4月	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	27	0	0	74
5月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	1	1	1	0	1	0	21	0	328	0	0	349
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	1	2	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	2	2	7	0	0	365	10	0	0	0	0	375
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	1	1	0	131	0	0	0	0	131
合計	2	0	6	8	17	1	7	29,152	5,990	0	519	7	0	35,668

月別火災種別件数



火災種別件数

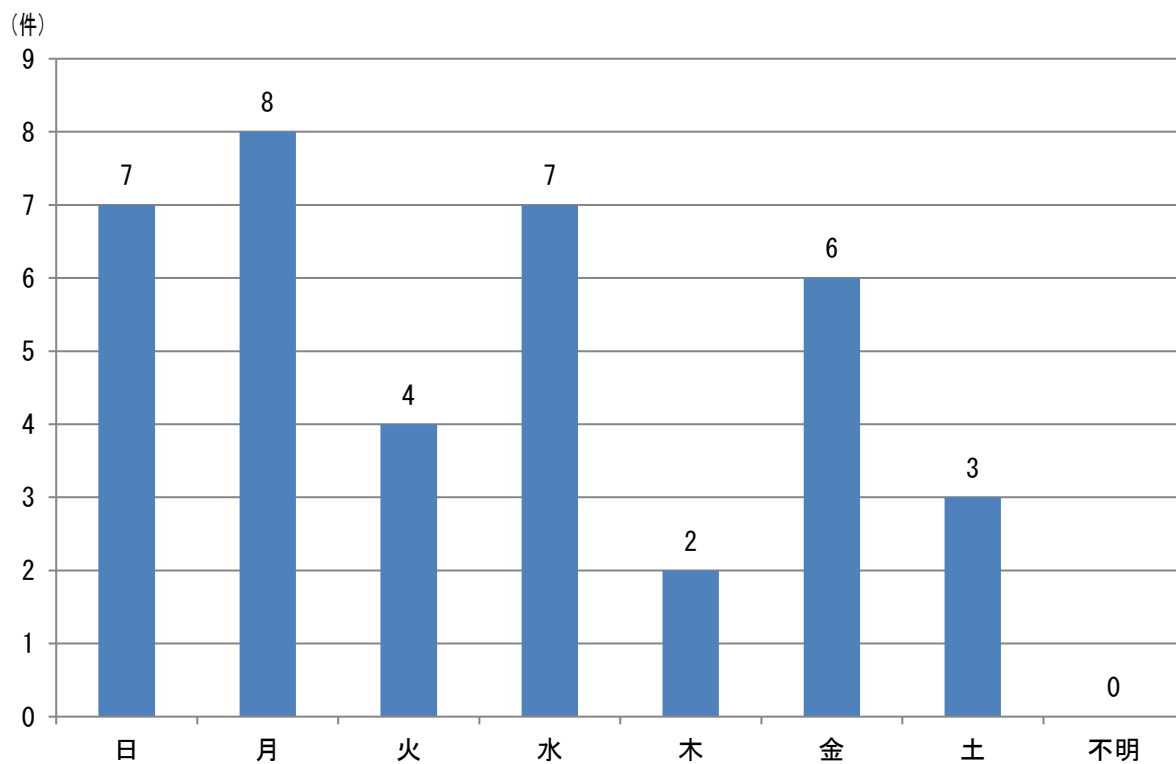


曜日・時間別火災発生状況

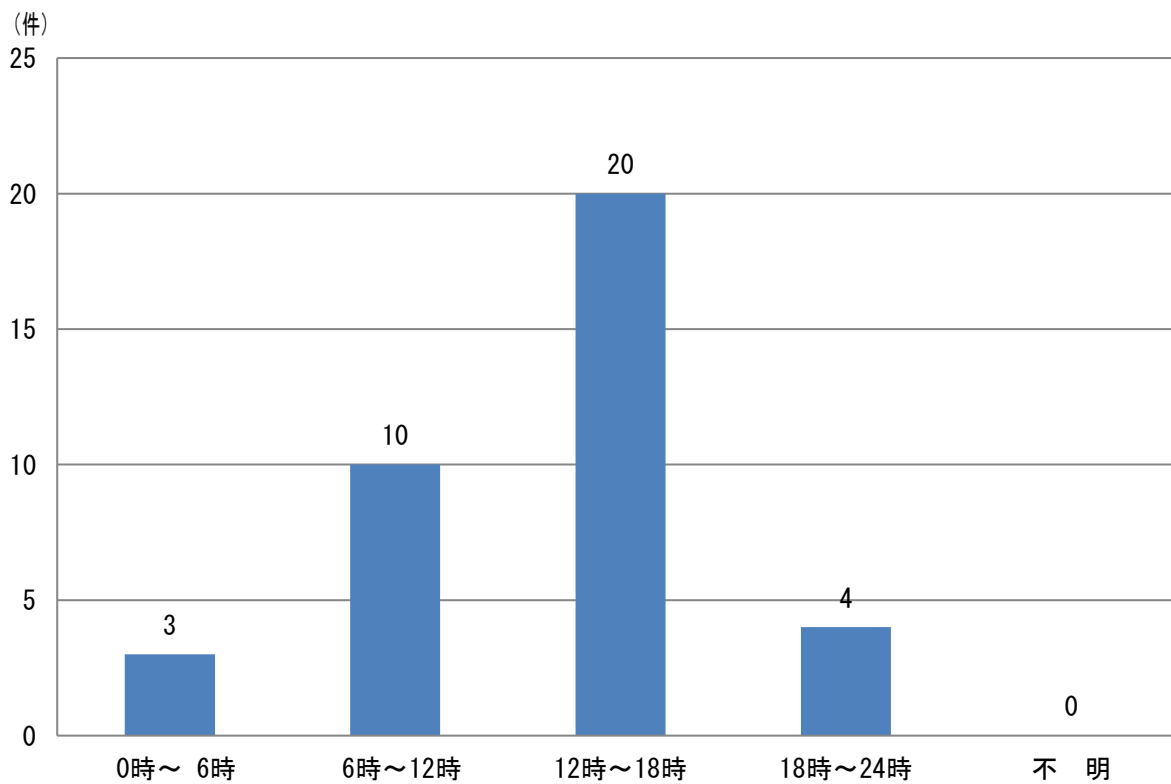
(令和4年中)

		件数 (件)	火災種別				焼損面積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	3	0	1	0	2	0	0	1	
	12～18	4	2	0	0	2	17	4	0	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7	2	1	0	4	17	4	1	95
月	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	2	0	0	0	2	0	0	0	
	12～18	4	1	0	0	3	365	0	0	
	18～24	2	2	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	8	3	0	0	5	365	0	0	0
火	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	2	1	0	1	0	0	0	166	
	12～18	2	0	0	0	2	0	0	0	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4	1	0	1	2	0	0	0	166
水	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	3	2	0	1	0	110	19	0	9,441
	12～18	4	4	0	0	0	22	4	0	397
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7	6	0	1	0	132	23	0	9,838
木	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	2	0	1	0	1	0	0	1	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	0	1	0	1	0	0	1	0
金	0～6	2	1	0	1	0	6	0	0	719
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	2	2	0	0	0	45	0	0	
	18～24	2	1	1	0	0	0	0	2	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	6	4	1	1	0	51	0	2	724
土	0～6	1	1	0	0	0	132	0	0	24,845
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	2	0	0	0	2	0	0	0	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	3	1	0	0	2	132	0	0	24,845
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	

曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



気象別火災発生状況

(令和4年中)

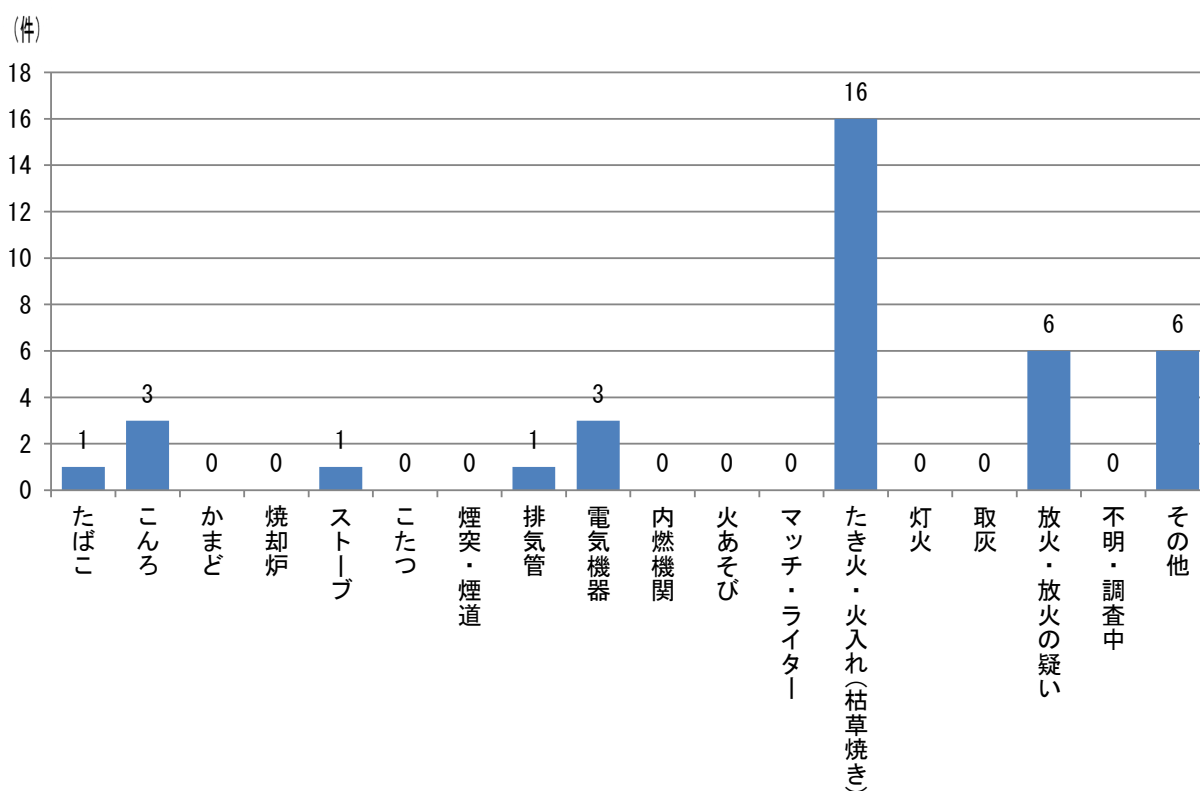
		火災件数 (件)					損害見積額 (千円)						
		合計	建物	林野	車両	その他	合計	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発
風速	2m未満	17	9	1	2	5	34,890	28,738	5,954	0	191	7	0
	2m～3m	6	4	1	1	0	755	414	13	0	328	0	0
	3m～5m	13	4	0	0	9	23	0	23	0	0	0	0
	5m～7m	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7m～10m	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10m以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	37	17	3	3	14	35,668	29,152	5,990	0	519	7	0
湿度	40%未満	6	1	0	1	4	48	0	21	0	27	0	0
	40%～50%	3	2	1	0	0	5	2	3	0	0	0	0
	50%～60%	8	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0
	60%～70%	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	70%～80%	4	3	0	0	1	49	47	2	0	0	0	0
	80%～90%	6	4	0	1	1	10,165	9,053	777	0	328	7	0
	90%以上	6	5	0	1	0	25,401	20,050	5,187	0	164	0	0
計	37	17	3	3	14	35,668	29,152	5,990	0	519	7	0	
天候	晴	20	7	2	1	10	9,722	8,793	895	0	27	7	0
	曇	15	9	1	1	4	25,782	20,359	5,095	0	328	0	0
	雨	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	霧	1	0	0	1	0	164	0	0	0	164	0	0
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	37	17	3	3	14	35,668	29,152	5,990	0	519	7	0
警報・注意報等	火災気象通報	16	5	2	2	7	377	48	138	0	191	0	0
	乾燥・強風注意報	1	1	0	0	0	21	0	21	0	0	0	0
	なし	12	6	0	1	5	751	412	11	0	328	0	0
	その他	8	5	1	0	2	34,519	28,692	5,820	0	0	7	0
	計	37	17	3	3	14	35,668	29,152	5,990	0	519	7	0

火災原因別調べ

(令和4年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見 積 額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たばこ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
こんろ	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
かまど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ストーブ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こたつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排気管	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
内燃機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火あそび	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マッチ・ライター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たき火・火入れ(枯草焼き)	16	1	1	3	4	2	0	0	2	0	1	1	1	0
灯火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放火・放火の疑い	6	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0
不明・調査中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	1	0
合計	37	2	6	4	5	5	3	0	4	2	2	1	3	0

火災原因別件数



救急概要

(令和4年中)

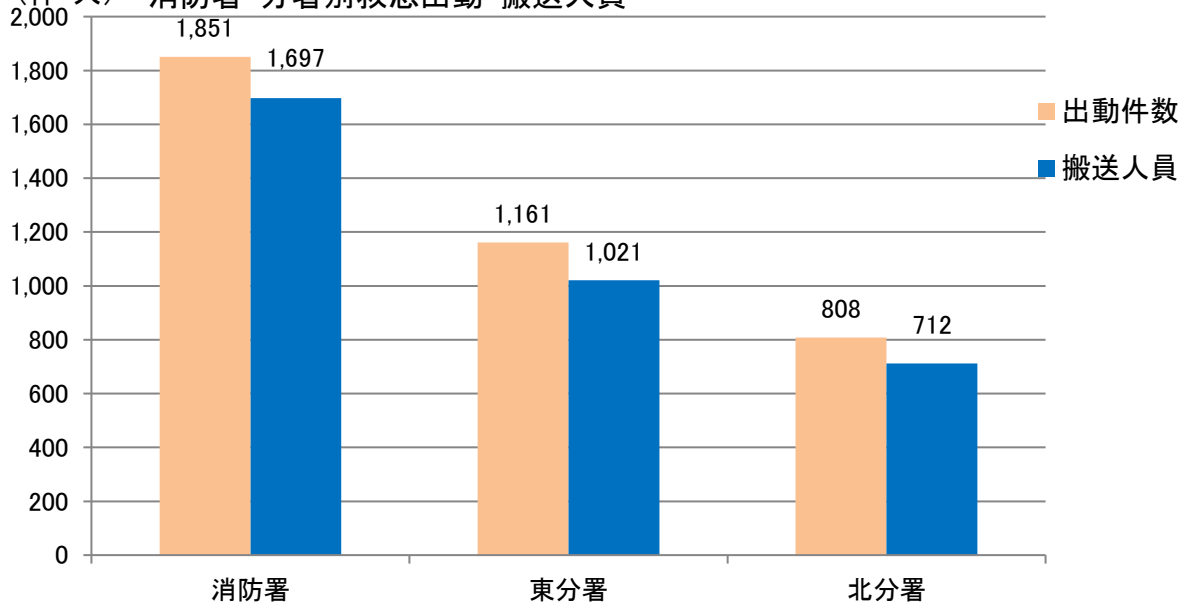
出 動 件 数 (件)		令 和 4 年	令 和 3 年	前 年 比 (△ 減)
		3,820	3,348	472
事 故 種 別	火 災	39	28	11
	自 然 災 害	0	0	0
	水 難	0	2	△ 2
	交 通	219	216	3
	労 働 災 害	35	24	11
	運 動 競 技	18	9	9
	一 般 負 傷	604	526	78
	加 害	6	5	1
	自 損 行 為	45	43	2
	急 病	2,628	2,291	337
	そ の 他	転 院 搬 送	201	171
医 師 搬 送		12	20	△ 8
資 材 搬 送		0	0	0
そ の 他		13	13	0
搬 送 人 員		3,430	3,026	404
不 搬 送		417	357	60
1 か 月 平 均 出 動 件 数 (件)		318	279	39
1 日 平 均 出 動 件 数 (件)		10.47	9.17	1.30
平 均 現 着 所 要 時 間 (分)		9.53	9.35	0.18

署・分署別救急活動状況

(令和4年中)

		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
消防署	出動件数(件)	9	0	0	96	12	13	285	4	18	1,251	163	1,851
	搬送人員(人)	2	0	0	89	12	13	266	4	14	1,143	154	1,697
東分署	出動件数(件)	12	0	0	77	14	2	187	0	14	829	26	1,161
	搬送人員(人)	2	0	0	73	13	2	177	0	7	731	16	1,021
北分署	出動件数(件)	18	0	0	46	9	3	132	2	13	548	37	808
	搬送人員(人)	2	0	0	46	9	3	130	1	9	482	30	712
合計	出動件数(件)	39	0	0	219	35	18	604	6	45	2,628	226	3,820
	搬送人員(人)	6	0	0	208	34	18	573	5	30	2,356	200	3,430

(件・人) 消防署・分署別救急出動・搬送人員



月別救急活動状況

(令和4年中)

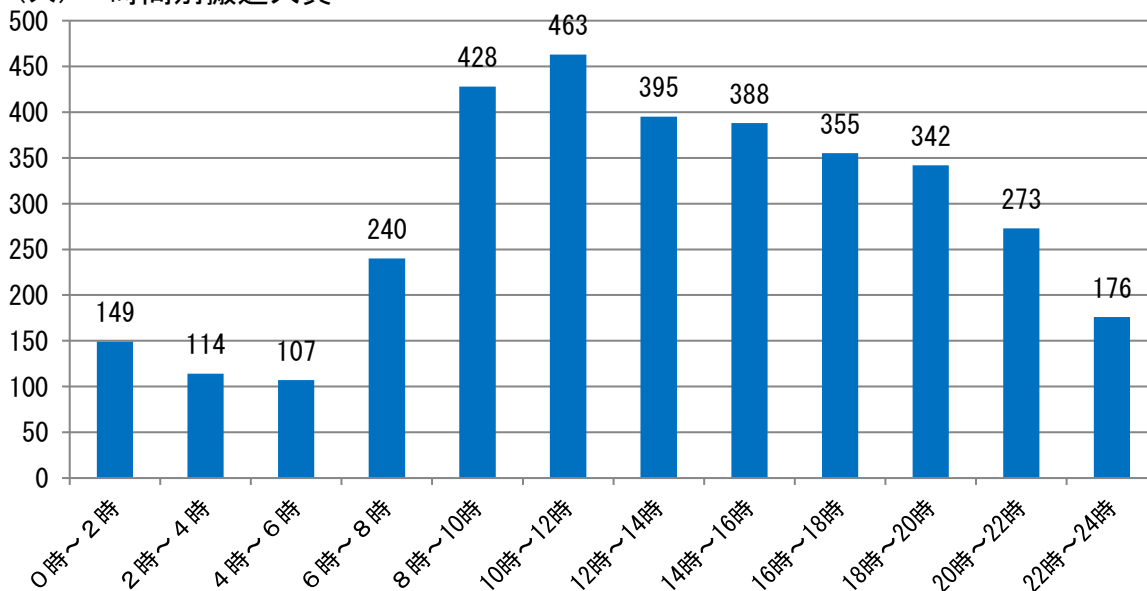
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	2	0	0	9	3	0	48	1	5	225	21	314
	搬送人員(人)	0	0	0	8	2	0	47	0	4	202	21	284
2月	出動件数(件)	6	0	0	13	3	0	52	1	0	206	14	295
	搬送人員(人)	1	0	0	12	3	0	49	1	0	171	14	251
3月	出動件数(件)	4	0	0	15	0	0	53	0	6	199	18	295
	搬送人員(人)	0	0	0	14	0	0	52	0	2	171	15	254
4月	出動件数(件)	6	0	0	10	2	3	51	0	2	211	16	301
	搬送人員(人)	0	0	0	9	2	3	49	0	2	188	16	269
5月	出動件数(件)	3	0	0	11	2	0	53	0	5	187	17	278
	搬送人員(人)	1	0	0	12	2	0	49	0	4	164	14	246
6月	出動件数(件)	2	0	0	22	2	5	40	0	4	198	22	295
	搬送人員(人)	1	0	0	20	2	5	37	0	2	177	18	262
7月	出動件数(件)	1	0	0	36	10	1	41	1	4	269	12	375
	搬送人員(人)	0	0	0	35	10	1	39	1	3	250	11	350
8月	出動件数(件)	4	0	0	17	7	1	44	0	5	270	17	365
	搬送人員(人)	2	0	0	14	7	1	41	0	2	255	12	334
9月	出動件数(件)	2	0	0	16	2	0	55	1	3	191	20	290
	搬送人員(人)	0	0	0	17	2	0	54	1	2	173	19	268
10月	出動件数(件)	2	0	0	25	1	5	51	1	6	178	25	294
	搬送人員(人)	0	0	0	25	1	5	49	1	5	159	19	264
11月	出動件数(件)	3	0	0	23	3	2	49	0	1	205	18	304
	搬送人員(人)	0	0	0	21	3	2	45	0	1	182	15	269
12月	出動件数(件)	4	0	0	22	0	1	67	1	4	289	26	414
	搬送人員(人)	1	0	0	21	0	1	62	1	3	264	26	379
合計	出動件数(件)	39	0	0	219	35	18	604	6	45	2,628	226	3,820
	搬送人員(人)	6	0	0	208	34	18	573	5	30	2,356	200	3,430

時間別事故種別搬送人員

(令和4年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	0	0	0	3	1	0	24	1	2	115	3	149
2～4	1	0	0	2	0	0	11	0	1	96	3	114
4～6	0	0	0	2	0	0	21	0	3	81	0	107
6～8	0	0	0	20	0	0	34	0	3	177	6	240
8～10	0	0	0	26	6	1	80	0	5	280	30	428
10～12	0	0	0	23	3	1	85	0	4	308	39	463
12～14	1	0	0	25	11	7	61	0	0	264	26	395
14～16	2	0	0	28	10	6	62	0	2	251	27	388
16～18	1	0	0	38	1	2	58	0	1	228	26	355
18～20	1	0	0	16	0	0	70	1	4	231	19	342
20～22	0	0	0	21	0	1	42	0	3	190	16	273
22～24	0	0	0	4	2	0	25	3	2	135	5	176
合計	6	0	0	208	34	18	573	5	30	2,356	200	3,430

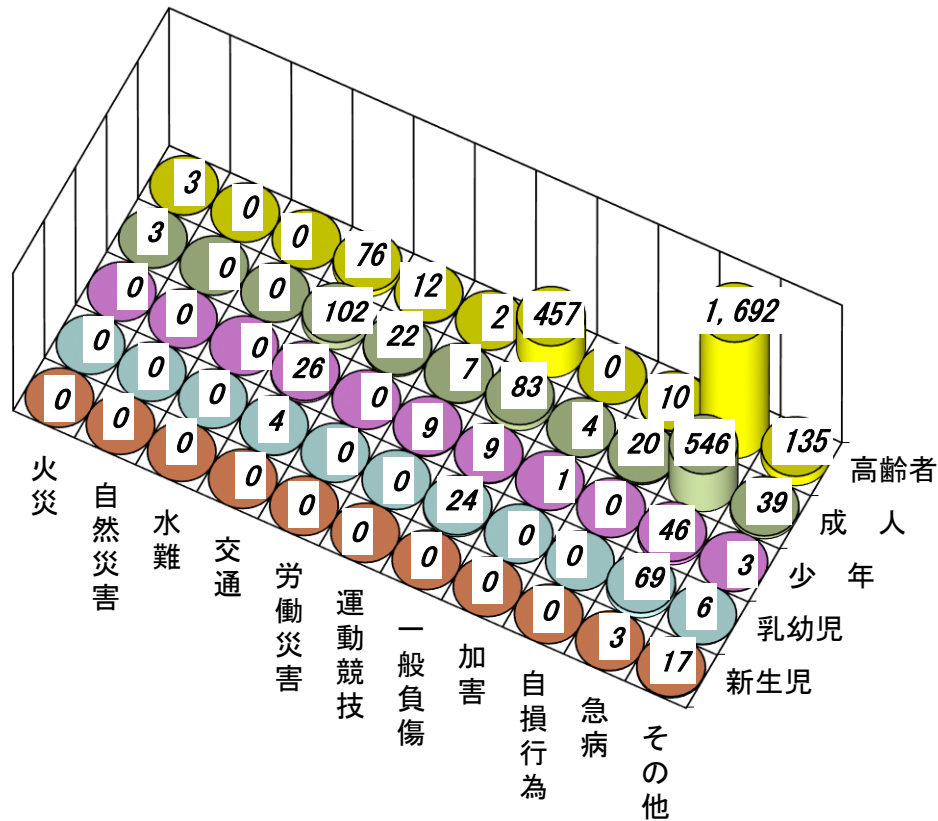
(人) 時間別搬送人員



年齢区別事故種別搬送人員

(令和4年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17	20
乳幼児	0	0	0	4	0	0	24	0	0	69	6	103
少年	0	0	0	26	0	9	9	1	0	46	3	94
成人	3	0	0	102	22	7	83	4	20	546	39	826
高齢者	3	0	0	76	12	2	457	0	10	1,692	135	2,387
合計	6	0	0	208	34	18	573	5	30	2,356	200	3,430



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(令和4年中)

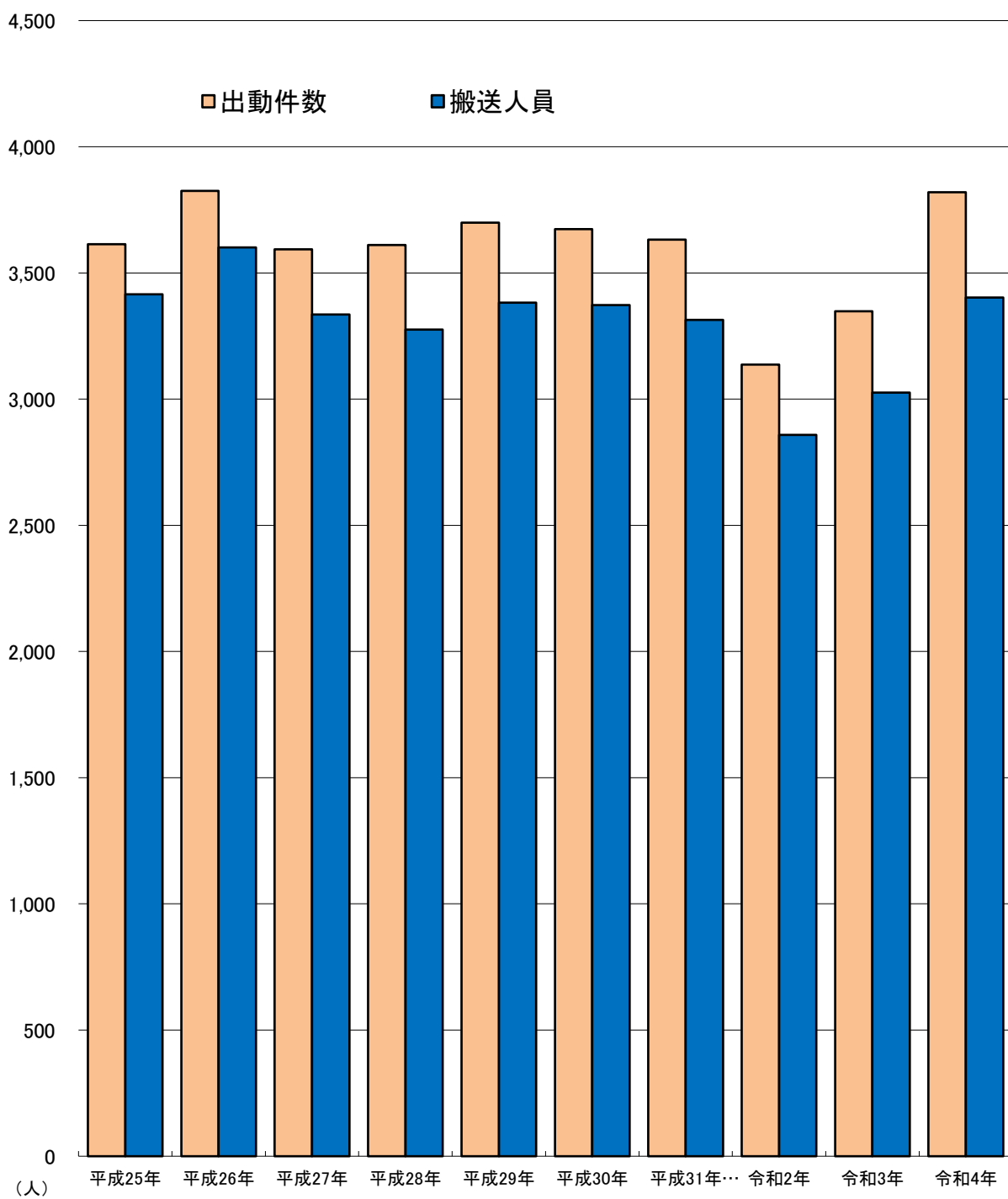
傷病程度		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計
死 亡	男性	0	0	0	1	0	0	2	0	1	8	0	12
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	0	13
	計	0	0	0	1	0	0	2	0	2	20	0	25
重 症	男性	0	0	0	8	2	0	18	0	2	104	26	160
	女性	2	0	0	4	0	0	20	0	4	75	16	121
	計	2	0	0	12	2	0	38	0	6	179	42	281
中 等 症	男性	0	0	0	41	15	5	131	3	7	714	80	996
	女性	0	0	0	28	2	1	183	0	7	697	68	986
	計	0	0	0	69	17	6	314	3	14	1,411	148	1,982
軽 症	男性	3	0	0	74	12	10	115	1	4	380	3	602
	女性	1	0	0	52	3	2	104	1	4	366	7	540
	計	4	0	0	126	15	12	219	2	8	746	10	1,142
そ の 他	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男性	3	0	0	124	29	15	266	4	14	1,206	109	1,770
	女性	3	0	0	84	5	3	307	1	16	1,150	91	1,660
	合計	6	0	0	208	34	18	573	5	30	2,356	200	3,430

傷病程度別年齢区分搬送人員

(令和4年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合計
死 亡	0	0	1	2	22	25
重 症	9	3	2	48	219	281
中 等 症	11	33	35	423	1,480	1,982
軽 症	0	67	56	353	666	1,142
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計	20	103	94	826	2,387	3,430

過去10年間における救急出動の推移



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数	3,614	3,825	3,594	3,611	3,699	3,674	3,632	3,137	3,348	3,820
搬送人員	3,416	3,601	3,336	3,276	3,382	3,373	3,314	2,858	3,026	3,403

救急講習実施状況

	市民救命士養成講座		応急手当普及員(人)
	開催回数	市民救命士(人)	
平成13年度	32	589	31
平成14年度	45	652	0
平成15年度	46	825	0
平成16年度	51	619	0
平成17年度	62	923	52
平成18年度	81	1,135	0
平成19年度	78	1,029	27
平成20年度	69	1,065	0
平成21年度	73	1,311	0
平成22年度	84	1,241	55
平成23年度	82	1,387	44
平成24年度	116	1,249	28
平成25年度	96	2,001	98
平成26年度	107	2,100	62
平成27年度	140	2,825	45
平成28年度	151	3,243	46
平成29年度	136	2,636	23
平成30年度	111	2,179	43
平成31年度 令和元年度	97	1,133	0
令和2年度	41	542	0
令和3年度	66	894	0
令和4年度	126	1,616	34
合計	1,890	31,194	588

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(令和4年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況			
	火災	交通事故	水難	風水害等	自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス欠及び	酸欠事故	破裂事故	その他	合計	出動隊数	活動件数
1 月	2	1									3	10	2	
2 月	5	2									7	31	6	1
3 月		3									3	9		
4 月	2	1				1					4	17	2	
5 月	1					1					2	11	1	
6 月	1	2					1			1	5	16	3	2
7 月						1				2	3	10	3	3
8 月	3	1								1	5	20	3	1
9 月	2	1									3	15	3	1
10 月	1	1								3	5	17	2	1
11 月		2									2	8	1	1
12 月	2	3								1	6	28	2	
合 計	19	17	0	0		2	2	0	0	8	48	192	28	10

2 救助活動状況（前年との比較）

年及比	別 出 動 件 数 比 及 救 助 人 員	事 故 種 別										合 計
		火災	交通事故	水難	風水害等	自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス欠及び	酸欠事故	破裂事故	
令和4年	出動件数（件）	19	17	0	0	2	2	0	0	8	48	
	救助人員（人）	1	3	0	0	1	1	0	0	4	9	
令和3年	出動件数（件）	25	22	3	0	1	0	1	0	5	57	
	救助人員（人）	1	8	1	0	1	0	0	0	4	15	
前 年 比	出動件数（件）	△ 6	△ 5	△ 3	0	1	2	△ 1	0	3	△ 9	
	救助人員（人）	0	△ 5	△ 1	0	0	1	0	0	0	△ 6	

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(令和4年度)

項別防火対象物		防火管理者選任義務対象物 (法第8条)				消防用設備等設置対象物 (法第17条)				
		消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計	
1	イ	劇場等	2	1	1	4	2	1	1	4
	ロ	集会所等	19	9	9	37	19	11	10	40
2	イ	キャバレー等	1			1	2			2
	ロ	遊技場等	3	1	2	6	3	1	2	6
	ハ	性風俗店等								
	ニ	カラオケボックス等	1	1		2	1	1		2
3	イ	待合・料理店	4			4	4			4
	ロ	飲食店	72	11	12	95	116	24	33	173
4		百貨店等	72	28	31	131	100	36	47	183
5	イ	旅館等	12	3	7	22	23	9	9	41
	ロ	共同住宅等	26	21		47	708	366	73	1,147
6	イ	病院等	5		2	7	35	9	11	55
	ロ	福祉施設等	11	14	5	30	15	42	6	63
	ハ	口以外	25	13	10	48	55	35	21	111
	ニ	幼稚園等	3	2		5	3	6		9
7		学校等	14	11	6	31	69	54	17	140
8		図書館等	3	1	2	6	5	1	3	9
9	イ	蒸気浴場等								
	ロ	一般浴場		1		1	1	1		2
10		車両停車場								
11		神社等	17	13	17	47	30	19	44	93
12	イ	工場等	5	36	2	43	135	312	115	562
	ロ	スタジオ								
13	イ	車庫等					73	17	13	103
	ロ	格納庫								
14		倉庫		3	1	4	167	193	118	478
15		前各項以外	68	36	30	134	264	234	234	732
16	イ	特定複合用途	109	32	13	154	229	62	35	326
	ロ	イ以外	16	2	6	24	120	29	25	174
17		文化財			2	2	12	8	5	25
18		アーケード					2			2
合計			488	239	158	885	2,193	1,471	822	4,486

建築同意事務 署・分署別件数
(令和4年度)

(令和4年度)

		新 築	増 築	改 築	そ の 他	計 画 更 改	許 可 申 請	合 計
消防署	指 導 あ り	30	3		1	5		39
	指 導 な し	28	1			2	3	34
	小 計	58	4		1	7	3	73
東分署	指 導 あ り	22	13		1	5		41
	指 導 な し	4					1	5
	小 計	26	13		1	5	1	46
北分署	指 導 あ り		3					3
	指 導 な し	2	1					3
	小 計	2	4					6
合 計	指 導 あ り	52	19		2	10		83
	指 導 な し	34	2			2	4	42
	小 計	86	21		2	12	4	125

建築同意事務業態別棟別件数

(令和4年度)

項	防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計 画 更 改	許 可 申 請	合 計
1	イ 劇 場 等							
	ロ 集 会 所 等	1						1
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊 技 場 等							
	ハ 性 風 俗 店 等							
	ニ カラオケボックス等							
3	イ 待 合 ・ 料 理 店							
	ロ 飲 食 店	1						1
4	百 貨 店 等	1						1
5	イ 旅 館 等							
	ロ 共 同 住 宅 等	27				7		34
6	イ 病 院 等							
	ロ 福 祉 施 設 等	2						2
	ハ 口 以 外	1						1
	ニ 幼 稚 園 等							
7	学 校 等							
8	図 書 館 等	1						1
9	イ 蒸 気 浴 場 等							
	ロ 一 般 浴 場							
10	車 両 停 車 場							
11	神 社 等		1					1
12	イ 工 場 等	2	5			1		8
	ロ スタジオ							
13	イ 車 庫 等	1	3			1		5
	ロ 格 納 庫							
14	倉 庫	8	3					11
15	前 各 項 以 外	9	6			1		16
16	イ 特 定 複 合 用 途	1	2		2			5
	ロ イ 以 外	1						1
17	文 化 財							
18	ア ー ケード							
専 用 住 宅 等		30	1			2	4	37
合 計		86	21		2	12	4	125

消防用設備等検査状況

(令和4年度)

消防用設備等		着工届出書 (累計)	設置届出書 (累計)	完成検査 (累計)
消火設備	消火器		63	55
	屋内消火栓設備	7	8	6
	スプリンクラー設備（水道連結型含む）	2	3	3
	水噴霧消火設備			
	泡消火設備	3	3	4
	不活性ガス消火設備	2	2	2
	ハロゲン化物消火設備			
	粉末消火設備	3	5	3
	屋外消火栓設備	5	3	1
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	69	103	74
	ガス漏れ火災警報設備			
	漏電火災警報器	1	1	1
	消防機関へ通報する火災報知設備	4	5	7
	非常警報器具・設備（ベル、サイレン）	12	14	8
	非常警報（放送）設備	7	9	7
避難設備	避難器具	7	6	5
	誘導灯	59	134	99
	誘導標識		33	32
消防用水				
消火活動上 必要な施設	排煙設備			
	連結散水設備			
	連結送水管			
	非常コンセント設備			
	無線通信補助設備			
必要とされる 防火安全性能 を有する設備	パッケージ型消火設備	2	1	1
	パッケージ型自動消火設備	1	27	1
	特定小規模施設用自動火災報知設備		1	1
	共同住宅用自動火災報知設備			
	その他			
合 計		184	421	310

危険物施設の状況

(令和4年度)

	製造所	貯蔵所						取扱所			合計		
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売		一般	
許可施設数	21	77	84	4	57	0	39	6	53	2	57	400	
数量別数	5倍以下	0	31	4	2	20	0	37	1	4	0	25	124
	5倍を越え 10倍以下	3	22	12	1	14	0	0	3	5	0	13	73
	10倍を越え 50倍以下	5	14	26	1	18	0	0	2	17	2	17	102
	50倍を越え 100倍以下	4	2	21	0	2	0	1	0	5	0	0	35
	100倍を越え 150倍以下	2	7	4	0	1	0	1	0	7	0	0	22
	150倍を越え 200倍以下	0	0	8	0	2	0	0	0	5	0	1	16
	200倍を越え 1,000倍以下	5	1	9	0	0	0	0	0	10	0	1	26
	1,000倍を 越えるもの	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
種別	単独	第1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第4類	18	71	84	4	57	0	39	6	53	1	57
		第5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第6類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	混在	3	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10

危険物申請の状況

(令和4年度)

	製造所	貯蔵所							取扱所			合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
許可	設置	0	0	4	0	1	0	2	0	0	0	0	7
	変更	5	1	1	0	1	0	3	0	5	0	18	34
完成	設置	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	5
	変更	7	0	1	0	1	0	3	0	5	0	14	31
廃止		0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	5

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(令和4年度)

製造所	貯蔵所							取扱所			仮貯蔵	仮取扱	合計
	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般			
4	1	1	0	0	0	0	0	5	0	12	2	5	30

手数料徴収状況

(令和4年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
11	27	124	182	852	535	0	0	1,731

(単位：千円)

火災予防条例等各種届出件数

(令和4年度)

届出種別	消防署	東分署	北分署	合計
防火対象物使用開始届	29	20	11	60
炉設置届出書		7		7
厨房設備設置届書				
温風暖房機設置届出書				
ボイラー設置届出書	6	7	2	15
給湯湯沸設備設置届出書	7			7
乾燥設備設置届出書	1	6	1	8
サウナ設備設置届出書				
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書				
火花を生ずる設備設置届出書				
放電加工機設置届				
燃料電池発電機設置届出書				
発電設備設置届出書	6	2	1	9
変電設備設置届出書	5	9	4	18
急速充電設備設置届出書	1			1
蓄電池設備設置届出書	3	6	3	12
ネオン管灯設備設置届出書				
水素ガスを充填する気球の設置届出書				
少量危険物貯蔵取扱届出書	7		4	11
指定可燃物貯蔵取扱届出書		9	9	18
少量危険物等タンク検査申請書		5		5
喫煙等の使用申請書	3		1	4
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生のおそれのある行為の届出書	26	22	10	58
椅子席固定免除申請書又は客席避難通路特例適用申請書	44			44
露店の開設届出書	37	10	15	62
火災予防上必要な業務に関する計画書				
防火管理者選任（解任）届出書	101	71	36	208
消防計画作成（変更）届出書	111	90	37	238
消防訓練通知書	255	159	70	484
防火対象物点検結果報告書	33	9	15	57
消防用設備等点検結果報告書	485	254	150	889
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	24	9	1	34
防火管理に関する講習課程修了証明申請書	15			15
少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	5	6	3	14
指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書		2	2	4
煙火打上げ仕掛け届出書	4	3	8	15
指定洞道等届出書				
その他の届出	35	27	9	71
合計	1,243	733	392	2,368

立入検査実施状況

(令和4年度)

種別	実施数
指定文化財立入検査	27
防火対象物立入検査	182
危険物施設立入検査	42

防火指導状況

(令和4年度)

対象	事業内容	実施日	実施状況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	6月1日～12月31日	794件
	高齢者大学 防火研修会	実施なし	
自治会等	安心安全講座	随時	計27回 1,022人
防火対象物	消防訓練指導	随時	計73回 6,230人
	乙種防火管理講習(新規)	実施なし	0人
	甲種防火管理講習(新規)	6月23日24日、10月20日21日	2回 95人
	甲種防火管理講習(再講習)	実施なし	隔年で綾部市と交互に実施
その他	消防署見学	随時	2,750人
	起震車体験会	10月3日～10月26日	30園 827人

(令和4年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	初級 10月16日/23日	合計75人
		中級 10月23日	合計22人

広報活動状況

(令和4年度)

広報活動内容	回数
1 巡回広報	218
2 街頭広報	2
3 有線利用による広報	9
4 報道機関への情報提供	13
5 固定放送設備による広報	9
6 ホームページによる広報	98

幼年消防クラブ活動状況

(令和4年度)

	クラブ数	クラブ員
保育園	26	2,307人
幼稚園	4	372人
その他	5	75人

実施事業

(令和4年度)

実施事業	内容
幼年消防クラブ総会	令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画(案)
幼年消防クラブ指導者研修会	防火指導に関する研修、救急講習
巡回防火教室	防火の話 消防車と記念撮影
起震車体験会	起震車による地震体験、煙体験、防火ビデオ上映

福知山市防災センター来館者状況

(令和4年度)

合計	防災センター	防災広場のみ
6,740人	5,483人	1,257人

【通信指令課】

覚知別集計

(令和4年中)

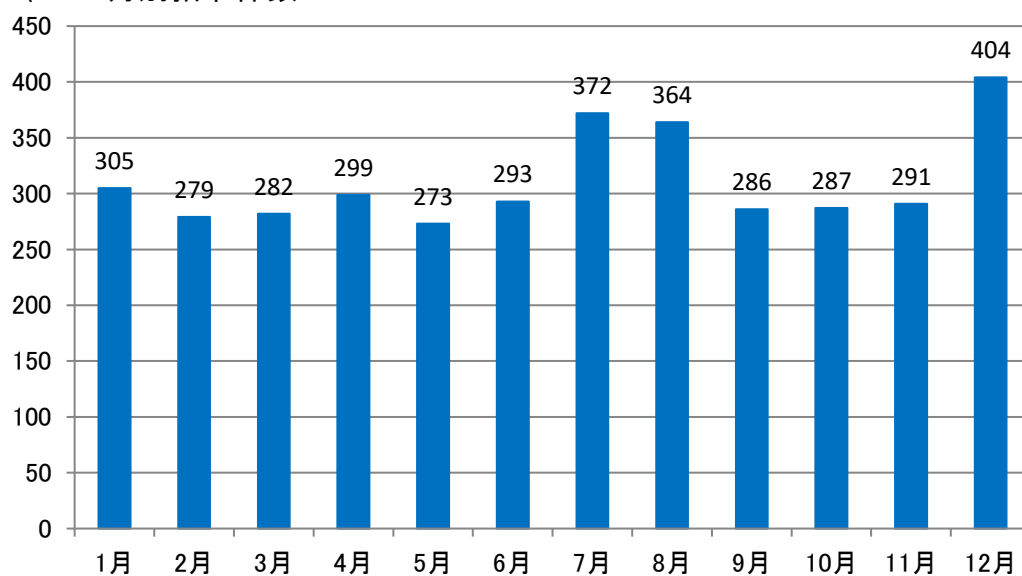
災害区分		件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話FAX	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火災	建物	17	1	6	7	1	0	0	0	2	0
	車両	3	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	林野	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	その他	14	0	9	0	1	0	0	1	3	0
	小計	37	1	19	8	2	0	0	1	5	1
救急	火災	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交通	176	7	149	6	9	0	0	2	0	3
	労働災害	30	1	19	9	0	0	0	1	0	0
	運動競技	19	2	9	5	2	0	0	0	0	1
	一般負傷	588	115	265	170	30	0	1	1	0	6
	加害	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
	自損	37	6	24	3	3	0	0	0	0	1
	急病	2,507	503	1,136	667	174	0	6	1	0	20
	転院搬送	201	21	7	37	136	0	0	0	0	0
	医師搬送	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	資材搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17	2	2	2	9	0	1	0	0	1	
小計	3,584	657	1,618	901	363	0	8	5	0	32	
救助	火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交通事故	17	1	6	2	8	0	0	0	0	0
	水難事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機械事故	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	建物事故	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	ガス・酸欠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8	0	5	2	1	0	0	0	0	0
小計	29	1	13	5	10	0	0	0	0	0	
警戒	自火報発報	30	4	13	3	10	0	0	0	0	0
	怪煙調査	29	1	5	5	16	0	0	0	0	2
	油漏れ	11	0	8	0	1	0	0	0	0	2
	ガス漏れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然災害	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	異臭調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	13	1	2	0	8	0	0	0	0	2
小計	85	7	29	8	35	0	0	0	0	6	
その他	病院紹介	11	2	6	2	1	0	0	0	0	0
	問い合わせ	165	32	95	27	9	0	0	0	0	2
	誤報	37	20	14	1	2	0	0	0	0	0
	いたづら	16	13	3	0	0	0	0	0	0	0
	119試験	435	245	126	33	20	0	0	0	0	11
	通報訓練	345	126	45	165	5	0	0	0	0	4
	重複	113	11	74	19	7	0	0	0	0	2
	まちがい	228	55	144	20	9	0	0	0	0	0
	取り消し	56	11	24	12	8	0	0	1	0	0
	その他	1,011	126	239	69	574	0	0	1	0	2
小計	2,417	641	770	348	635	0	0	2	0	21	
転送	舞鶴転送	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	綾部転送	14	1	13	0	0	0	0	0	0	0
	中部転送	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	宮津転送	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	丹波転送	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	豊岡転送	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	南但転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠山転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	23	1	22	0	0	0	0	0	0	0
合計	6,175	1,308	2,471	1,270	1,045	0	8	8	5	60	

月別指令状況

(令和4年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	2	6	4	5	5	3	0	4	2	2	1	3	37
救急	299	268	270	284	261	281	354	348	278	269	280	392	3,584
救助	1	2	3	2	1	4	3	2	1	4	2	4	29
警戒	3	3	5	8	6	5	15	10	5	12	8	5	85
合計	305	279	282	299	273	293	372	364	286	287	291	404	3,735

(件) 月別指令件数



ドクターヘリ要請件数

(令和4年中)

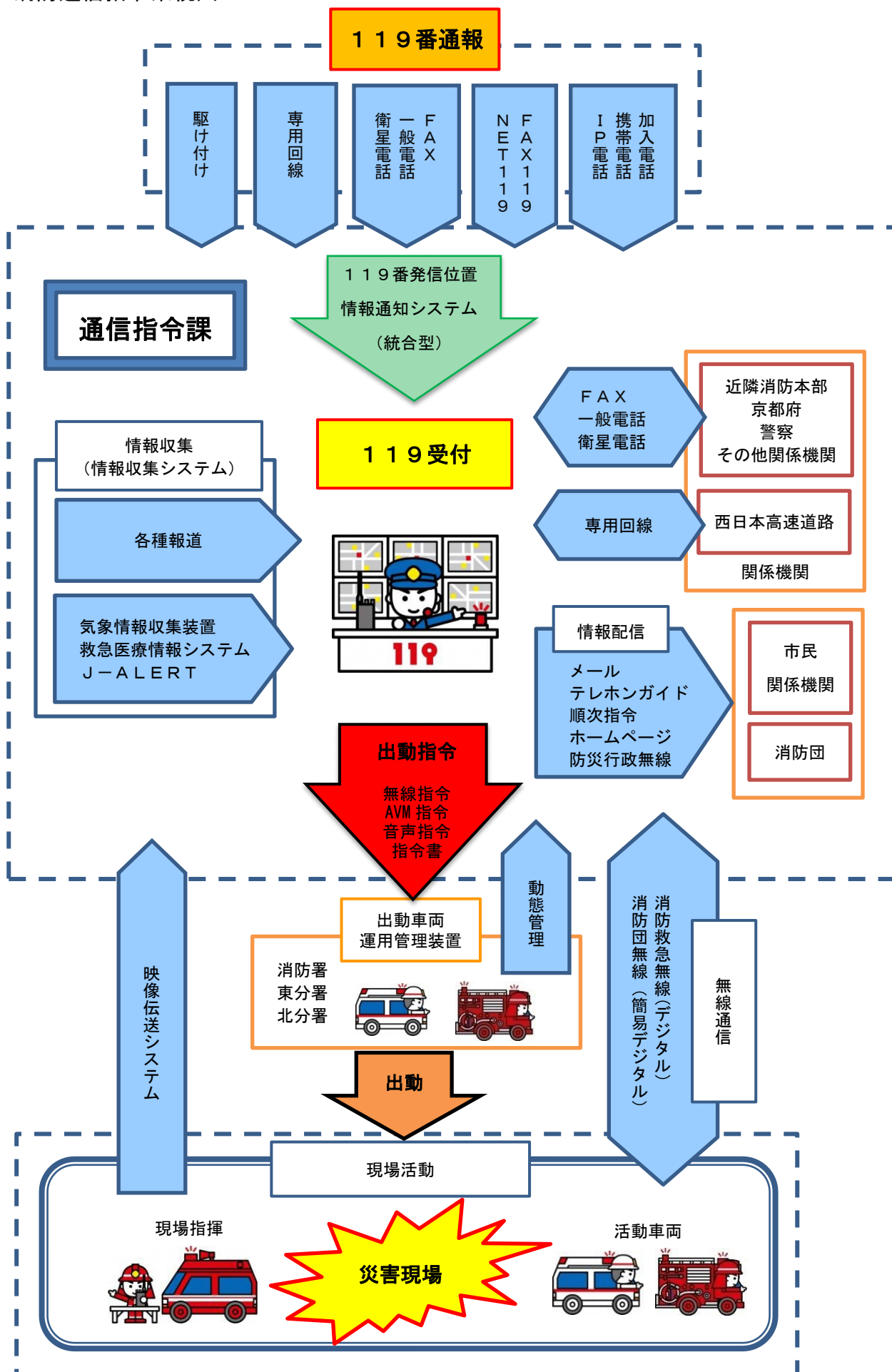
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	0	2	2	1	0	0	3	0	1	1	1	3	14

消防通信施設の現況

(令和5年4月1日)

名	称	数	備	考
通報受付回線				
119番回線数(固定・IP)		2回線	ISDN回線	計4CH
119番回線数(携帯)		2回線	ISDN回線	計2CH
衛星回線(119迂回回線)		2回線		
IP-VPN回線		2回線	位置情報通知システム用	
携帯転送用		1回線	ISDN回線	
西日本高速道路(舞鶴若狭自動車道)		1回線	専用回線	
情報連絡回線				
順次指令回線		3回線	アナログ回線	ISDN回線 計3回線
災害状況等自動案内		6回線		
携帯電話		12台		
消防救急無線(デジタル無線)				
基地局		4局	烏ヶ岳基地局、三和基地局、夜久野基地局 三岳基地局	
使用無線波		6波	活動波1・2 主運用波	統制波1・2・3
消防団無線(簡易デジタル無線)				
基地局・中継局		5局	消防防災センター基地局、三和基地局、夜久野基地局、 大江基地局、上夜久野中継局	
指令システム主要装置				
指令台		2台		
指揮台		1台		
表示盤		1式	55インチ液晶ディスプレイ	1面
無線統制台		1台		
署所施設		3式	署所端末、指令情報出力装置及び署所端末用受令機	
気象情報収集装置		1式		
災害状況等自動案内		1台		
順次指令装置		1式		
出動車両運用管理装置 (1)経路検索装置 (2)車両運用端末装置		1式 19式	車外設定端末装置は9式	
位置情報通知システム		1式	統合型	
NET119受信装置		1式		
FAX119受信装置		1式		
高所監視カメラ		2式		
映像伝送システム		1式	車載2 可搬3	ハンディ3
Eメール指令装置		1式		
情報共有表示盤		1式	50インチ液晶ディスプレイ	
消防OA		7台	Webサーバ方式	
防災行政無線等集中制御装置		1式	防災行政無線接続・連動用	
総合行政情報システム接続装置		1式		
その他のシステム				
防災行政無線		1式	遠隔制御卓・可搬型	
京都府医療情報端末装置		1式	タブレット端末	
京都府衛星電話		1台		
J-ALERT		1式		

消防通信指令系統図



【消防団】

消防団の沿革

(令和5年4月1日)

○昭和22年11月1日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉） 団員697名、ポンプ車6台、手引ガソリンポンプ12台
○昭和23年8月12日	団長 石坪一久 就任
○昭和24年4月1日	3村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により9分団となり、消防団員条例定員1,000人、実員1,123人となる。 ポンプ車5台、ガソリンポンプ21台、腕用ポンプ45台の消防力となる
〃 10月1日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団員条例定員1,000人、実員1,053人
○昭和30年4月1日	8村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数16、消防団員条例定員及び実員1,850人、ポンプ車7台、手引ポンプ45台、可搬動力ポンプ18台、腕用ポンプ60台の消防力となる
〃 4月6日	団長 足立秀夫 就任
〃 9月30日	上豊富分団が京都府知事表彰調査を受検し、12月22日に表彰旗を授与された
○昭和31年9月30日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積264.24k㎡、人口63,220人 【消防団の勢力】17分団、定員1,780人、実員1,775人 ポンプ車8台、手引ポンプ43台、可搬ポンプ23台、腕用ポンプ60台
○昭和33年3月7日	自治体消防発足10周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7月1日	団長 藤原定治 就任
○昭和35年11月20日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日表彰旗を授与された
○昭和37年1月6日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4月8日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和38年4月1日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和40年10月1日	消防団員条例定員1,400人、実員1,388人
○昭和42年4月1日	団長 芦田太郎 就任
○昭和44年4月1日	【消防団の勢力】17分団、定員1,400人、実員1,359人 消防ポンプ自動車9台、手引ポンプ8台、小型動力ポンプ65台
○昭和45年7月3日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始 西中分団、修斉分団、上六分団へ各1台配置
〃 10月5日	下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日表彰旗を授与された
○昭和46年11月1日	下川婦人消防隊結成、隊員47名
○昭和48年4月1日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 6 月 14 日 昭和 52 年 4 月 1 日	消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1） 団長 大槻増次 就任
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和 54 年 3 月 5 日 " 4 月 1 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された 福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を授与された
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 60 年 5 月 30 日 " 8 月 8 日 " 10 月 6 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置 消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド
	人 員 消防職員 85 名 消防団員 1,348 名 婦人消防隊 40 名
	車 両 ポンプ車 10 台 積載車 36 台 小型動力ポンプ 34 台
○昭和 61 年 3 月 5 日 " 5 月 1 日 " 9 月 28 日	消防庁長官より表彰旗が授与された 団長 吉竹 孝一郎 就任 雀部分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○昭和 63 年 10 月 13 日 ~19 日 " 10 月 26 日 " 10 月 30 日	京都国体警備。内福知山市分 16~19 日 金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場 大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 2 年 5 月 1 日 " 10 月 21 日	団長 関 宏躬 就任 修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 3 年 4 月 1 日 " 10 月 13 日	消防団員条例定員 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表彰旗が授与された

○平成 4年 8月 31日 " 11月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成 5年 10月 31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成 6年 5月 1日 " 8月 30日 " 10月 30日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成 7年 11月 12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成 8年 7月 1日 " 7月 25日 " 10月 13日	消防団員アルミックス防火衣を129着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成 9年 9月 1日 " 10月 12日	消防団員アルミックス防火衣を185着分支給 市制60周年(団発足50周年)記念事業(消防フェア福知山)開催
○平成 10年 8月 7日 " 12月 10日 ~21日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11年 7月 1日 " 9月 9日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12年 5月 1日 " 8月 6日 " 11月 23日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13年 10月 1日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊17人、福知山消防ファイヤーガード隊13人で発足
○平成 14年 1月 24日 " 5月 1日 " 8月 4日 " 10月 27日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」が京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
○平成 15年 11月 20日	自治体消防55周年記念大会参加
○平成 16年 5月 1日 " 8月 1日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18年 1月 1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
	【消防団の勢力】

	<p>団 長 岸田正一 団本部ほか 29 分団、定員 2,160 人、実員 2,065 人 消防ポンプ自動車 12 台 小型動力ポンプ付積載車 11 台 小型動力ポンプ付軽積載車 77 台 小型動力ポンプ 89 台</p>
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日	団長 足立秀幸 就任
〃 7 月 27 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日	団長 山田浩和 就任
〃 7 月 1 日	三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置
〃 8 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
〃 9 月 18 日	総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定
〃 5 月 1 日	消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す
〃 8 月 5 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足
〃 10 月 20 日	細見分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
〃 11 月 25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された
〃 2 月 15 日	総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
〃 3 月 4 日	総務省消防庁より消防団拠点資材等セッター式の無償貸与を受ける
〃 4 月 1 日	団長 塩見辰也 就任
〃 8 月 3 日	三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日	消防団簡易デジタル無線運用開始
〃 11 月 25 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日	団長 片岡幸基 就任
〃 7 月 31 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 12 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 29 年 10 月 21 日	ふくちやまファイヤーエンジェルズが、京都府知事から京都府あけぼの賞を授与された
〃 12 月 5 日	公益財団法人日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受ける

○平成30年	2月8日	平成29年10月台風21号時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃	4月1日	団長 池澤 徹 就任
〃	7月29日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃	9月18日	平成29年10月台風21号時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成31年	2月13日	平成30年7月豪雨時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃	3月5日	公益財団法人日本消防協会優良消防団表彰「特別表彰まとい」を受賞
令和元年	9月20日	平成30年7月豪雨時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○令和2年	4月1日	消防団員条例定員1,780人、実員1,652人となる
〃	5月24日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
〃	10月1日	雲原分団に機能別消防団員が発足
○令和3年	1月10日	活動服を更新、全団員に貸与
〃	6月6日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
○令和4年	4月1日	団長 小谷 晴昌 就任
〃	8月28日	条例改正により、消防団員の年額報酬を改定し、出勤報酬を創設 京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場し、第6位の成績を収める
○令和5年	1月8日	高視認性レインウェアを配備、全団員に貸与
〃	3月29日	条例改正により、消防団員の任命条件を一部改正 「本市に居住し、在学し、又は勤務する者。ただし、団長が特に必要があると認める者については、この限りでない」とする
〃	4月1日	全分団機能別消防団員制度の要綱を作成 西中分団、下夜久野分団、河西分団及び河東分団で運用開始

消防団員・消防団車両配置表

(令和5年4月1日)

ブロック	分団名	人 員											車 両 等					
		合計	団長	※副団長	分団長	副分団長	本部長	指導部長	本部班長	部長	班長	団員	ポンプ車	積載車	軽積載車	その他の車両		
	団本部	7	1	6													1	
ファイヤーエンジェルズ	ファイヤーガード隊	5								1	1	3						
	カラーガード隊	10								1		9						
中部	中 央	65		(1)	1	1	1	1	2	6	12	41		6				
	大 正	42			1	1	1	1	1	2	4	4	31		2			
	庵 我	72			1	1	1	1	1	3	7	7	57		3			
	修 齊	91			1	1	1	1	1	4	11	11	71		4	1		
	上 豊	90			1	1	1	1	1	2	6	6	77		3			
東部	雀 部	45		(1)	1	1	1	1	1	3	3	34		3				
	西 中	74			1	1	1	1	1	5	5	59		4	1			
	内機能別団員	1											1					
	上 六	44			1	1	1	1	1	2	4	4	33		2			
	中 六	42			1	1	1	1	1	2	5	5	30		2			
	下 六	57			1	1	1	1	1	4	4	4	44		4			
	佐 賀	36			1	1	1	1	1	2	4	4	25		2			
北部	下 川	35		(1)	1	1	1	1	1	2	4	24		2				
	上 川	43			1	1	1	1	1	2	6	6	30		2	1		
	金 谷	43			1	1	1	1	1	2	6	6	30		2			
	三 岳	38			1	1	1	1	1	2	4	4	27		1	1		
	内機能別団員	10											10					
	金 山	51			1	1	1	1	1	2	3	3	41		1	2		
	内機能別団員	20											20					
	雲 原	48			1	1	1	1	1	2	2	2	39		2			
内機能別団員	20										20							
三和	菟 原	62		(1)	1	1	1	1	1	4	4	49		4				
	細 見	57			1	1	1	1	1	4	5	43		4				
	川 合	20			1	1	1	1	1		1	14		2				
	内機能別団員	5											5					
	三和支所消防隊	9										9		1				
夜久野	上 夜久野	62		(1)	1	1	1	1	1	4	9	44	1	2	1			
	中 夜久野	37			1	1	1	1	1	2	4	26		2				
	下 夜久野	39			1	1	1	1	1	3	6	25		3				
	内機能別団員	1											1					
	夜久野支所消防隊	13										13						
大江	河 守	66		(1)	1	1	1	1	1	5	10	46		2	2			
	河 守上	42			1	1	1	1	1	2	5	30		2	1			
	河 西	36			1	1	1	1	1	2	4	25		1	1			
	内機能別団員	1											1					
	河 東	41			1	1	1	1	1	2	6	28		1	1			
	内機能別団員	1											1					
	有 路上	48			1	1	1	1	1	2	4	37		1	1			
有 路下	33		1	1	1	1	1	2	4	22		1	1					
	大江支所消防隊	7										7						
合計		1,510	1	6	29	29	29	29	30	81	153	1,123	1	71	15		1	

※ 団本部の副団長は各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(令和5年4月1日)

年齢別	合計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,510	44.86	1	59	356	691	327	76

在職年数別消防団員数

(令和5年4月1日)

年数別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,510	180	267	258	337	212	172	84

【水 防】

水防の概要

第1 市域を流れる河川

市域を流れる河川で、国、府および市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

（平成24年4月1日現在）

国が管轄するもの（1級河川）	2河川	〔 旧夜久野 78河川 旧大江 64河川 旧三和 91河川 旧福知山 146河川 延 379河川 〕
府が管轄するもの（1級河川）	49河川	
市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川	
延	430河川	

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都、滋賀および福井の府県境三国ヶ岳に源を発し、南丹市、京丹波町および綾部市の山間部、福知山盆地を経て日本海に注ぐ河川で、高屋川、上林川、土師川などと合流し、その流域面積は京都府と兵庫県にまたがり、1,882 km²におよびます。由良川水系の治水と利用についての意義は、丹波地域においてきわめて大きくなっています。

第3 現状の課題と方針

福知山市において、平成25年台風第18号災害、平成26年8月豪雨災害、平成29年台風第21号災害、平成30年7月豪雨災害など、5年間で4度もの大災害に見舞われており、近年の地球温暖化の影響とも言われ、雨の降り方が激甚化、局地化、集中化し、「気象状況が新たなステージに入った」と言われる中で、福知山市は全国で最もこのことを実感する自治体の一つであると言えます。

平成26年の8月豪雨災害以降、「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップの作成（福知山市）を完了するとともに、排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、ポンプ場のポンプ増強や調整池及びため池の改良（福知山市）など、国・府・市が一体となって総合的な内水対策が実施されました。

内水氾濫対策は継続して実施されていきますが、今後の課題としては、地区（自治体）ごとの災害リスク（内水氾濫、土砂災害等）に応じた対策がハード面（危機管理型水位計や水位センサーの設置）及びソフト面（マイマップやマイタイムラインの作成）共に重要となっています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの堤防破堤や溢流による外水氾濫と、内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地の標高は非常に低く、由良川と牧川の合流点付近では標高12mに過ぎません。したがって、由良川などの堤防が決壊した場合には、市街地全域にわた

る浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害および建物被害などが生じる危険性が高く、さらに水位が低下するまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道などです。このような地形では、雨水が集まりやすく水害の危険性は高くなります。

第5 近年の水害の記録

平成16年の台風23号では、総雨量279mm由良川水位も最高水位7m55cmを記録、さらに平成25年の台風18号では、総雨量216mm、由良川最高水位8m30cmを記録、由良川流域の広範囲において浸水し、家屋、耕地および主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

平成26年8月豪雨では、福知山市で24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達し、由良川では一時的に氾濫危険水位を超過しました。また、内水氾濫により市街地を中心に広い範囲で冠水し、約4,500戸が浸水するとともに、土砂災害も多く発生しました。福知山市は、市の全域約8万人に避難勧告を発表し、陸上自衛隊も救援に出動しました。さらにこの大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響度も非常に大きなものとなりました。

平成29年の台風21号では、総雨量200mm由良川水位も最高水位7m39cmを記録、道路の冠水により由良川流域の一部地域が一時的に孤立するなど、甚大な被害が生じました。

平成30年7月豪雨では、大雨特別警報が発表され、7月5日から7日にかけて広範囲に降雨があり、総雨量は439mm、由良川水位は氾濫危険水位を超え6.52mを記録し、平成26年の8月豪雨と同じく、都市の排水機能を超過した内水氾濫により広範囲の市街地に浸水被害をもたらし、林地保水力の限界を超えた山では、多くの土砂災害が発生しました。

【主な水害の記録】

明治29年8月31日	水位 7.88m	死傷者 200名	
	倒壊流失家屋 371戸		
明治40年8月26日	水位 8.48m	倒壊流失家屋 350戸	
大正10年9月26日	水位 7.36m	死傷者 7名	
	倒壊流失家屋 67戸	浸水家屋 3,058戸	
昭和5年8月1日	水位 7.12m		
	倒壊流失家屋 30戸	浸水家屋 3,006戸	
昭和20年10月9日 (阿久根台風)	水位 6.00m	死傷者 5名	総雨量 95.0mm
	倒壊流失家屋 111戸	浸水家屋 5,083戸	
昭和28年9月25日 (台風13号)	水位 8.10m	死傷者 792名	総雨量 254.3mm
	倒壊流失家屋 1,664戸	浸水家屋 3,836戸	

昭和34年9月26日 (伊勢湾台風)	水位 7.10m 負傷者 26名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113戸 浸水家屋 5,117戸
昭和36年9月16日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9名 倒壊家屋 76戸 浸水家屋 19戸
平成16年10月20日 ～21日(台風23号)	水位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋(半壊、一部損壊) 63戸 浸水家屋 844戸
平成25年9月16日 (台風18号)	水位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋(全壊、半壊) 332戸 浸水家屋 423戸
平成26年8月16日 ～17日(8月豪雨)	水位 6.48m 総雨量 335.5mm 倒壊家屋(全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253戸 浸水家屋 4,500戸 死者 1名 負傷者 1名
平成29年10月21日 ～23日(台風21号)	水位 7.39m 総雨量 200.0mm 倒壊家屋(半壊、一部破損) 23戸 浸水家屋 325戸
平成30年7月5日 ～7日(7月豪雨)	6日22:50 大雨特別警報発表 水位 6.52m 総雨量 439.0mm 倒壊家屋(全壊、半壊) 54戸 浸水家屋 1,161戸 負傷者 1名 【雨量記録】 ■日最大1時間降水量 7日午前1時00分 60.0mm ■日降水量 7日 199.0mm 歴代2位を記録(統計開始1976年) ■日最大10分間降水量 7日 23.0mm 歴代3位を記録(統計開始1976年)

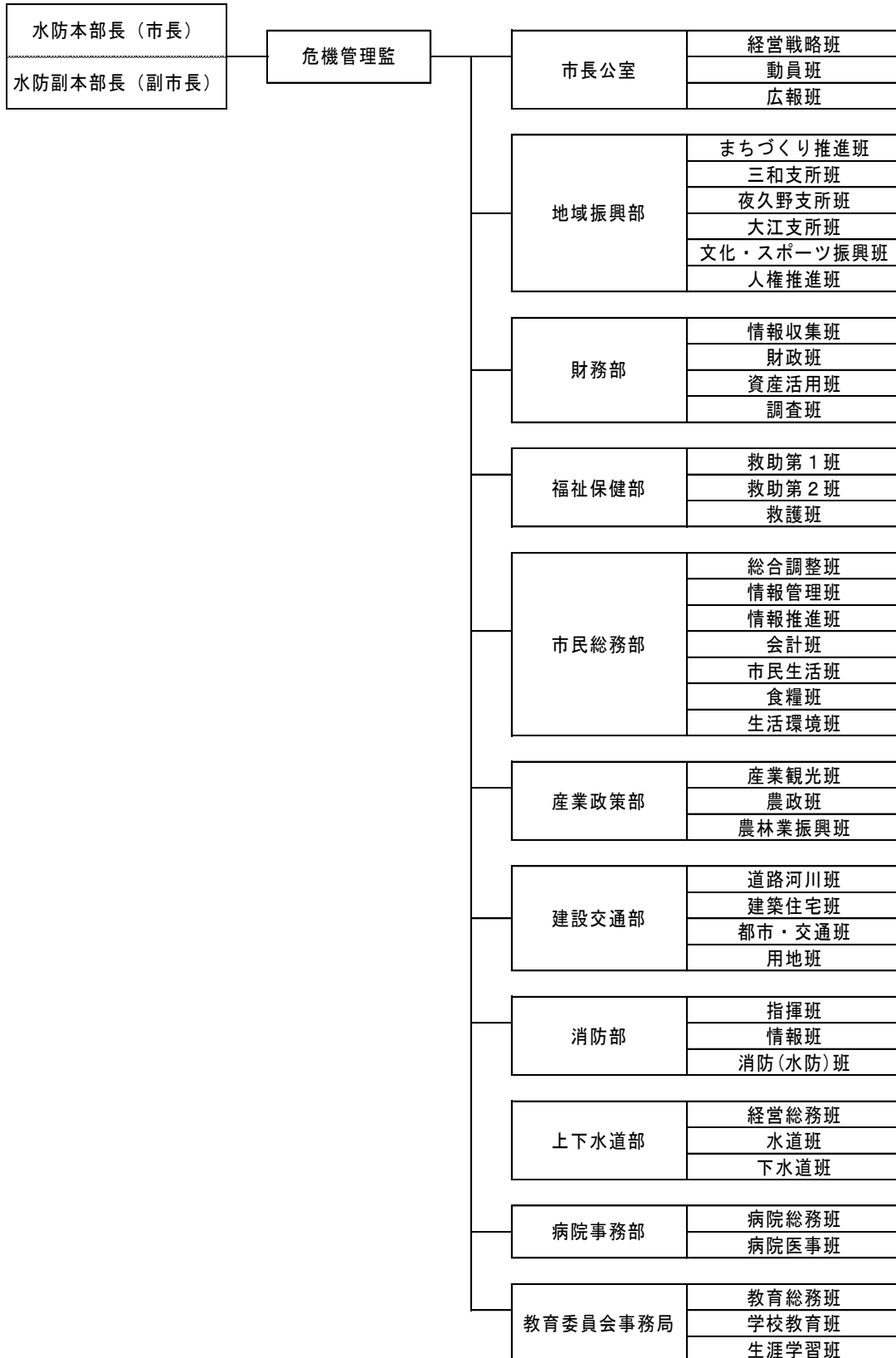
水防組織

第1 水防本部の組織

- 1 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- 2 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班および情報班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。
- 3 指揮班の任務
 - (1) 災害情報の収集・活動状況の総括
 - (2) 防災・水防信号の発令及び広報指示
 - (3) 消防団の非常招集及び活動の指示
 - (4) 緊急消防援助隊等の消防広域応援の指示
- 4 情報班の任務
 - (1) 災害情報の収集・活動状況の把握
 - (2) 所管システムによる災害情報の伝達
 - (3) 消防団の非常招集及び活動の調整
 - (4) 緊急消防援助隊等の消防広域応援の調整
 - (5) 部内の連絡調整
- 5 消防（水防）班の任務
 - (1) 災害情報の収集・活動状況の把握及び把握
 - (2) 防災・水防信号の発令及び広報の実施
 - (3) 消防隊等の編成及び出動に関すること
 - (4) 災害の場合における消防団の活動調整及び指示
 - (5) 災害警戒の広報、避難情報の伝達
 - (6) 避難者の誘導、避難所運営の支援
 - (7) 人命救助並びに身体及び財産の保護
 - (8) 遺体及び不明者の捜索
 - (9) 消防関係通信の運用及び確保
 - (10) 消防機材・水防資材点検整備
 - (11) 消防関係施設の点検整備

〔水防本部組織図〕

(令和5年3月31日現在)





令和4年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町 46 番地の 1
福知山市消防本部

TEL 0773 - 24 - 0119

FAX 0773 - 22 - 5458

URL <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/syoubou/>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp